

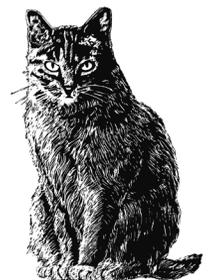


日本人の価値観の違いをさぐる

—日本人価値観調査2022—

山猫総合研究所

YAMANeko RESEARCH INSTITUTE



調査の概要

- 調査目的 政治に関する意識や投票実態を定点的に調査することで実態の変化を時系列で捉える。
- 調査対象 マクロミルモニタ 18歳以上の男女
- 調査地域 全国
- 調査方法 インターネットリサーチ
- 有効回答数 今回 3,152サンプル 前回 2,060サンプル
*両調査とも人口構成比に合わせウェイトバック集計を実施

【今回調査】	WB前	WB後	WB係数
10代 (18-19歳)	314ss	69ss	0.221006646381662
20代	477ss	359ss	0.753230384010747
30代	463ss	414ss	0.894898062554549
40代	462ss	539ss	1.16629907725998
50代	452ss	490ss	1.08352967462362
60代	484ss	462ss	0.953881132096006
70代以上	500ss	819ss	1.63742232468365

【前回調査】	WB前	WB後	WB係数
10代 (18-19歳)	206ss	47ss	0.22866916
20代	309ss	240ss	0.77574
30代	309ss	287ss	0.929301567
40代	309ss	362ss	1.171232307
50代	309ss	302ss	0.975964947
60代	309ss	339ss	1.098479567
70代以上	309ss	483ss	1.563502173

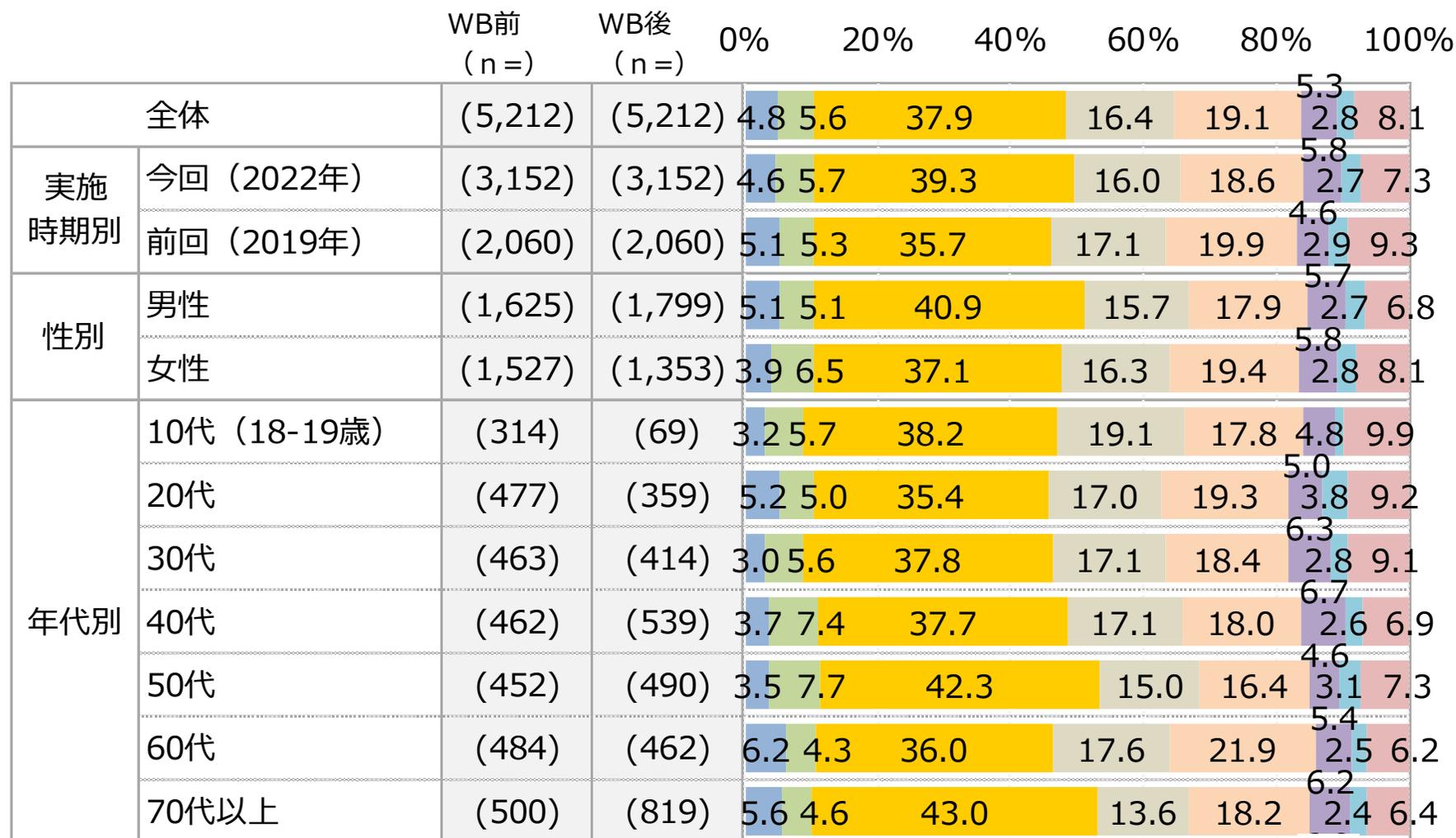
- 調査時期 2022年2月25日 (金) ~ 2月28日 (月)
- 調査実施機関 株式会社マクロミル

回答者のプロフィール（性・年代）

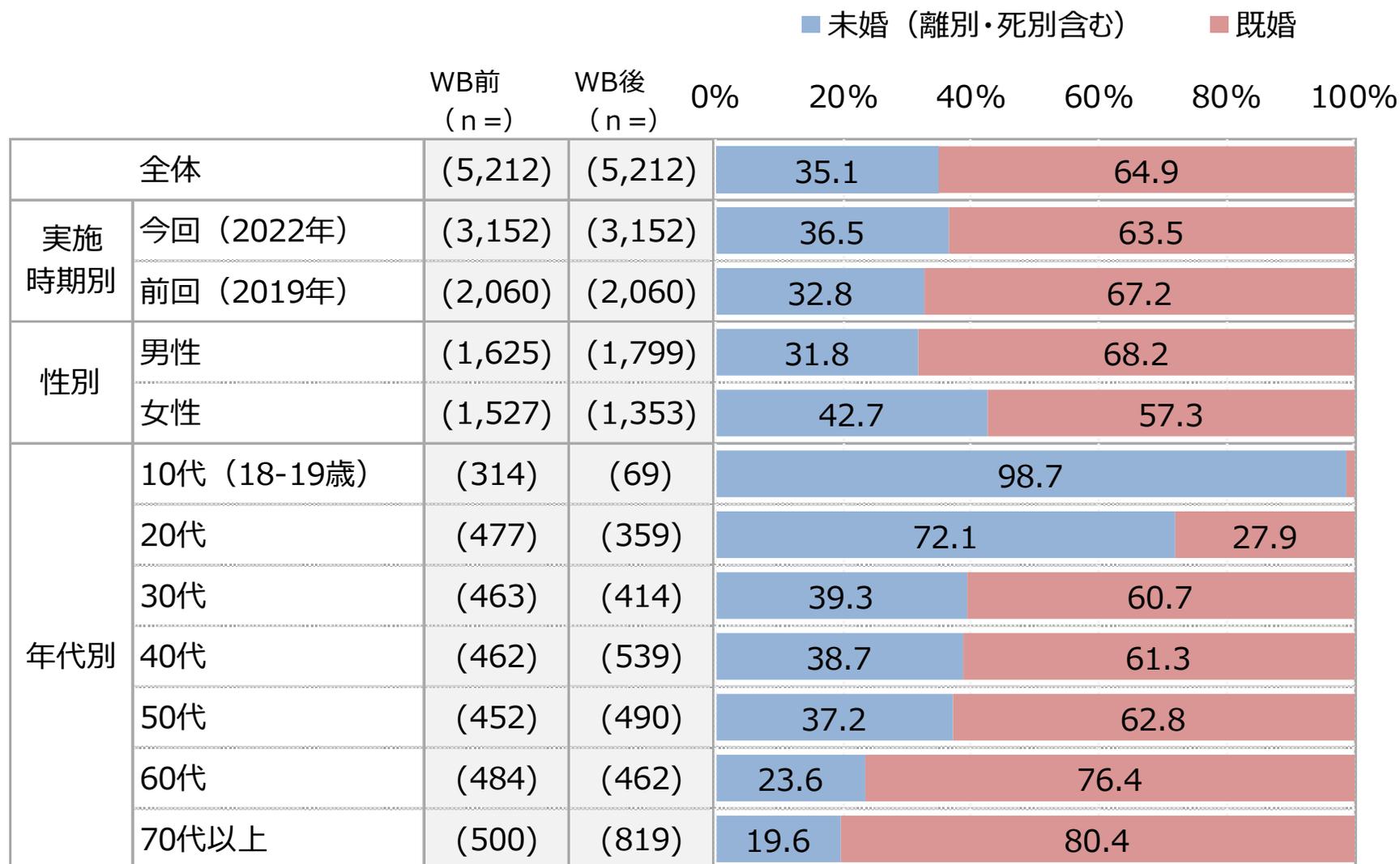
				北海道	東北地方	関東地方	中部地方	近畿地方	中国地方	四国地方	九州地方
	全体	(5,212)	(5,212)	4.8	5.6	37.9	16.4	19.1	5.3	2.8	8.1
実施 時期別	今回（2022年）	(3,152)	(3,152)	4.6	5.7	39.3	16.0	18.6	5.8	2.7	7.3
	前回（2019年）	(2,060)	(2,060)	5.1	5.3	35.7	17.1	19.9	4.6	2.9	9.3
性別	男性	(1,625)	(1,799)	5.1	5.1	40.9	15.7	17.9	5.7	2.7	6.8
	女性	(1,527)	(1,353)	3.9	6.5	37.1	16.3	19.4	5.8	2.8	8.1
年代別	10代（18-19歳）	(314)	(69)	3.2	5.7	38.2	19.1	17.8	4.8	1.3	9.9
	20代	(477)	(359)	5.2	5.0	35.4	17.0	19.3	5.0	3.8	9.2
	30代	(463)	(414)	3.0	5.6	37.8	17.1	18.4	6.3	2.8	9.1
	40代	(462)	(539)	3.7	7.4	37.7	17.1	18.0	6.7	2.6	6.9
	50代	(452)	(490)	3.5	7.7	42.3	15.0	16.4	4.6	3.1	7.3
	60代	(484)	(462)	6.2	4.3	36.0	17.6	21.9	5.4	2.5	6.2
	70代以上	(500)	(819)	5.6	4.6	43.0	13.6	18.2	6.2	2.4	6.4

回答者のプロフィール（居住地域）

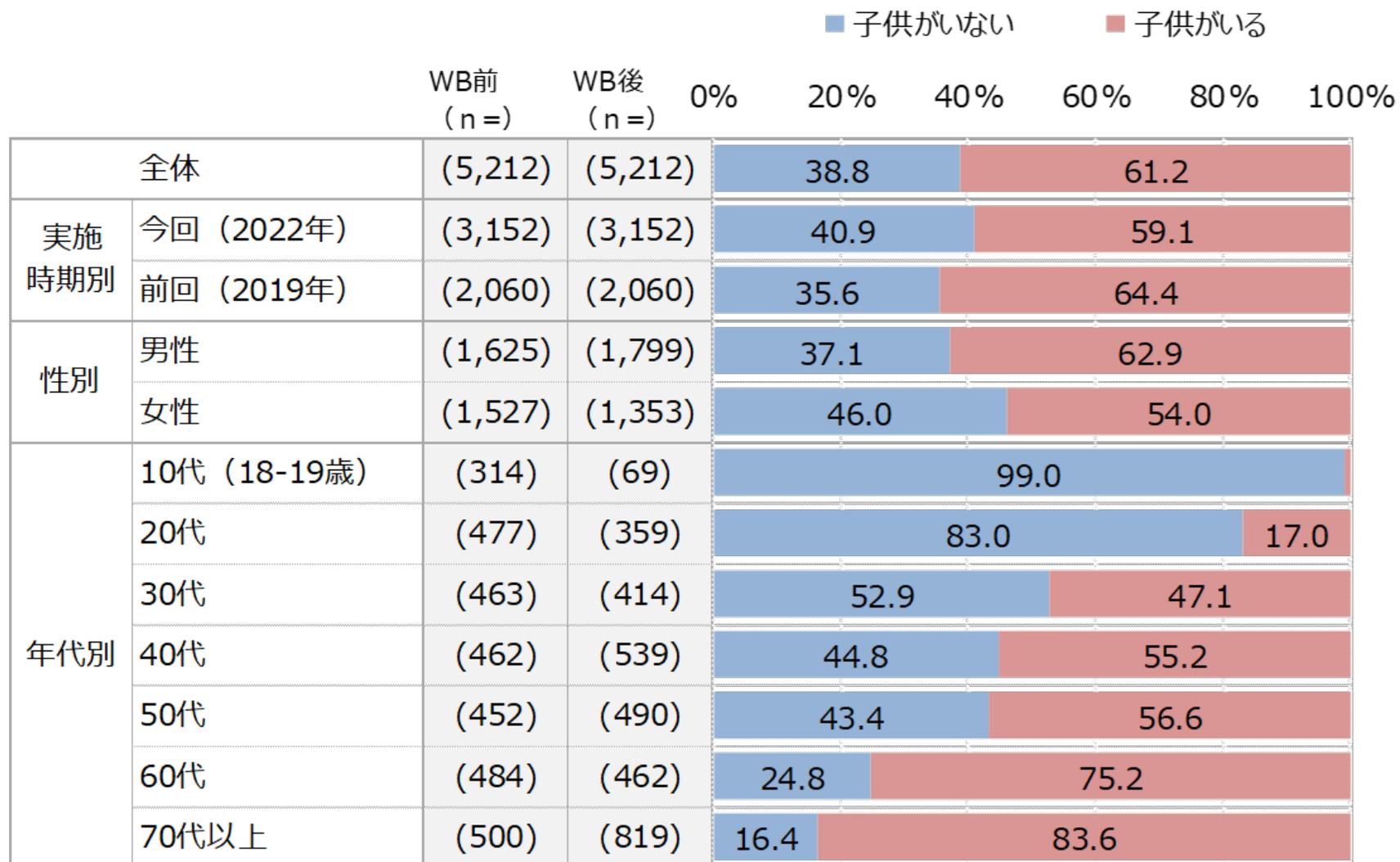
■ 北海道 ■ 東北地方 ■ 関東地方 ■ 中部地方 ■ 近畿地方 ■ 中国地方 ■ 四国地方 ■ 九州地方



回答者のプロフィール（未既婚）

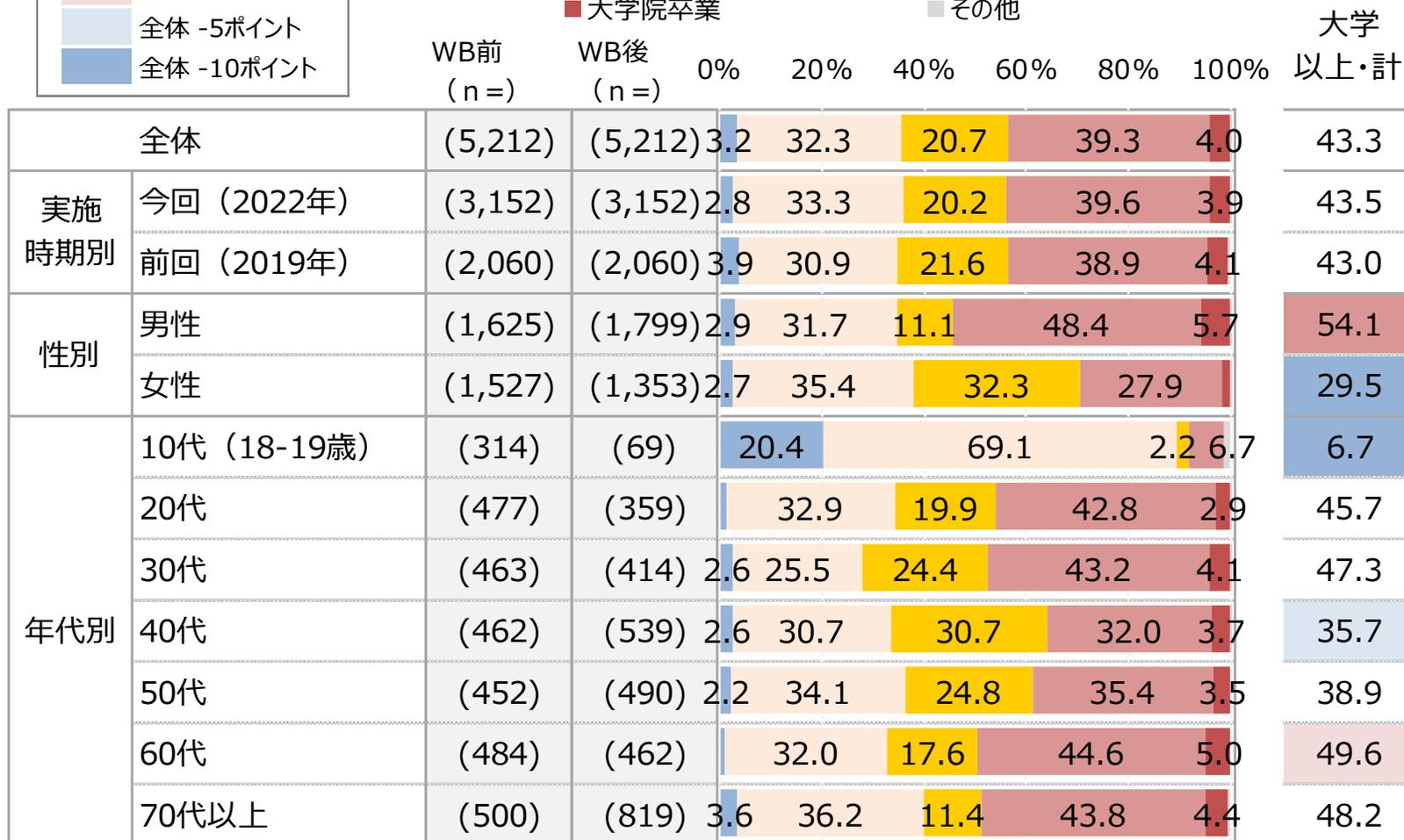
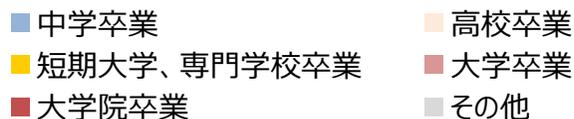
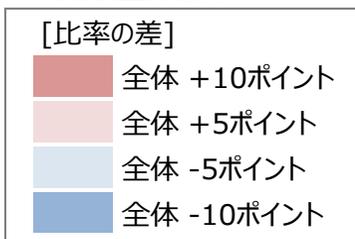


回答者のプロフィール（子供の有無）



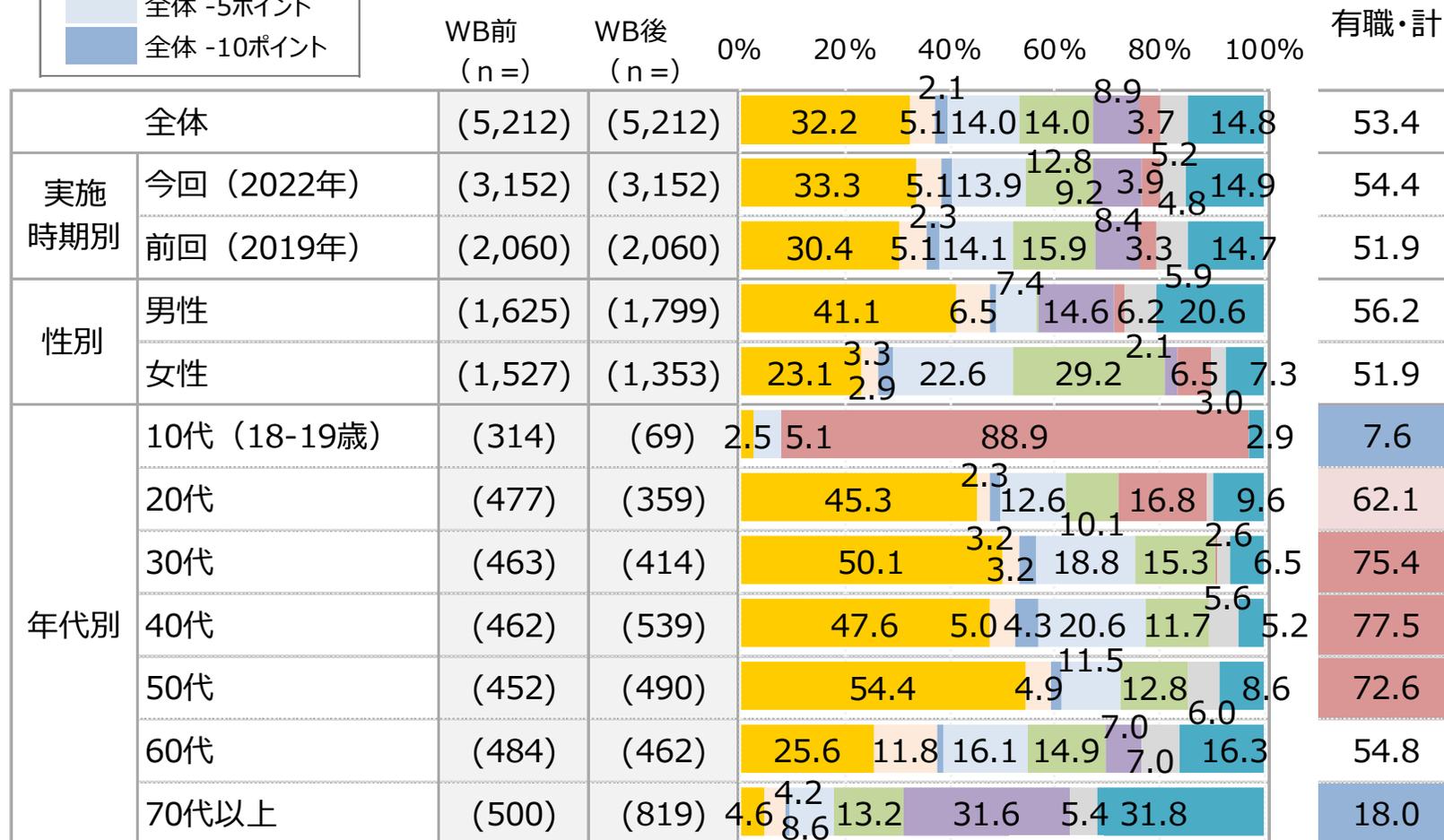
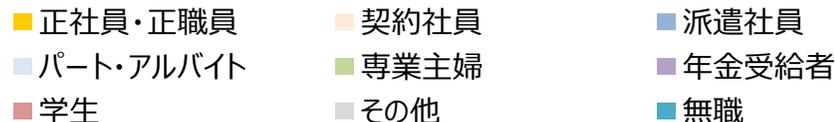
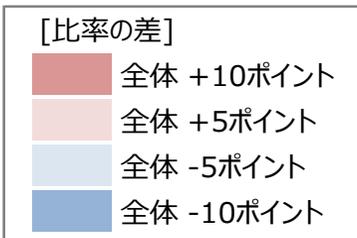
回答者のプロフィール（学歴）

n=30以上の場合



回答者のプロフィール（現在の就労状況）

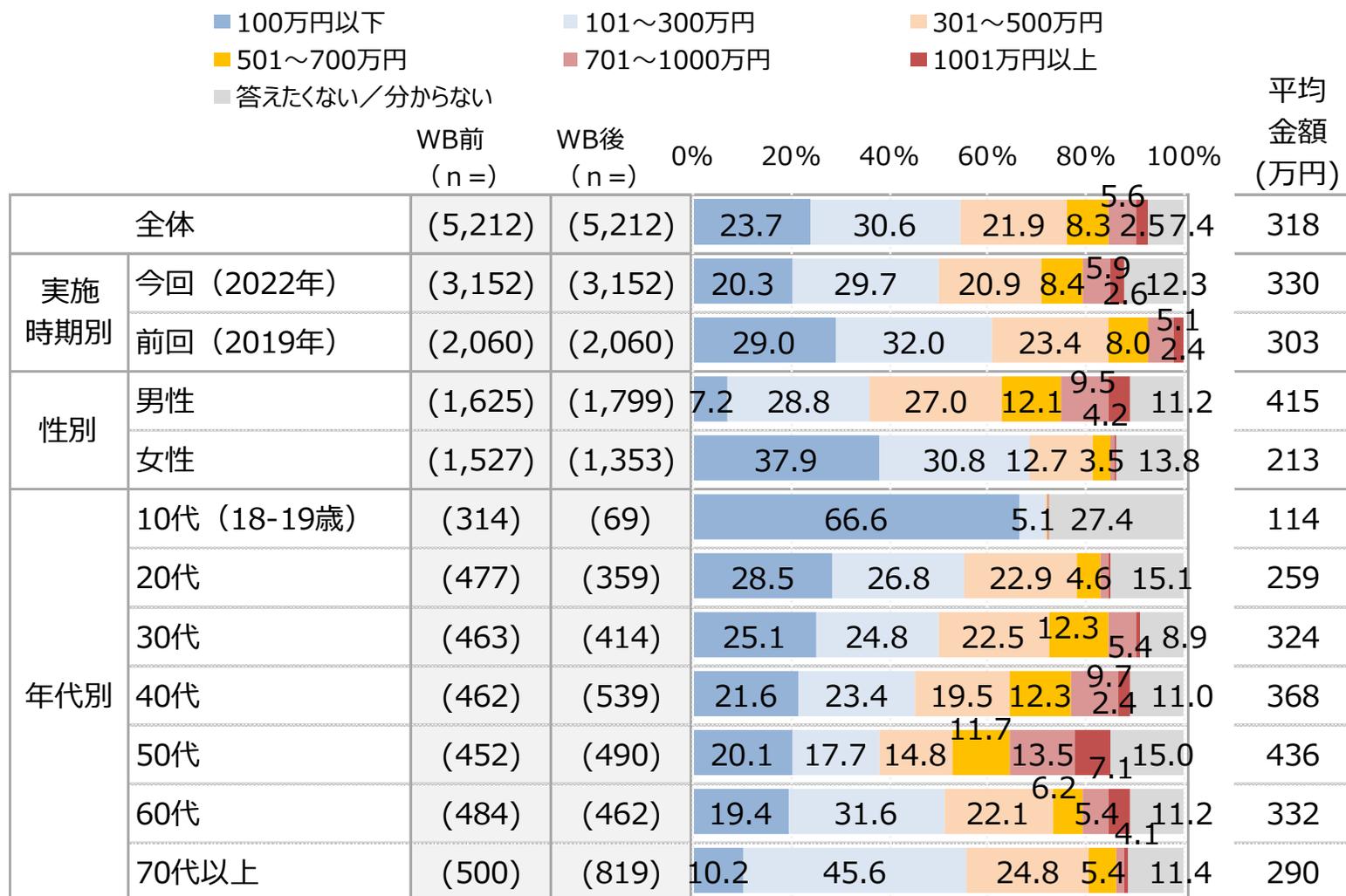
n=30以上の場合



回答者のプロフィール（個人年収）

※平均金額（万円）：全体から「答えたくない/分からない」を除き、各選択肢の中央値にて算出。ただし「100万円以下」は「100万円」、「1001万円以上」は「1001万円」、「1501万円以上」は「1501万円」で算出。

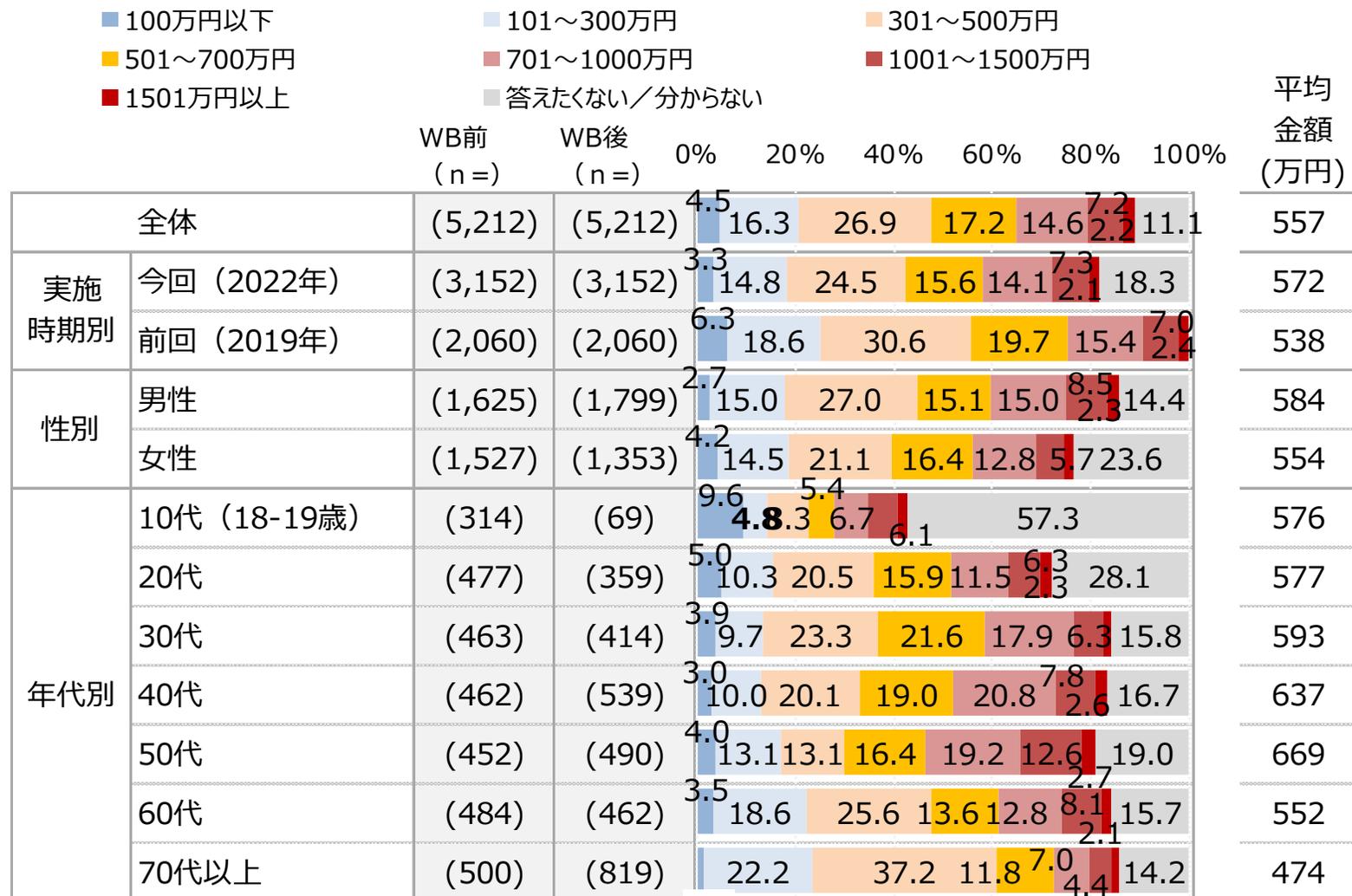
※2.0未満のスコアは非表示



回答者のプロフィール（世帯年収）

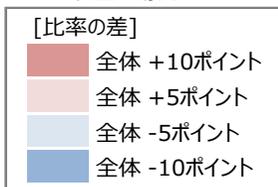
※平均金額（万円）：全体から「答えたくない/分からない」を除き、各選択肢の中央値にて算出。ただし「100万円以下」は「100万円」、「1001万円以上」は「1001万円」、「1501万円以上」は「1501万円」で算出。

※2.0未満のスコアは非表示



回答者のプロフィール（過去1年の政治家との会話頻度）

n=30以上の場合



■ 二回以上ある ■ 一回はある ■ 一回もない ■ 覚えていない

WB前 (n=) WB後 (n=) 0% 20% 40% 60% 80% 100%

会話
経験・計

		WB前 (n=)	WB後 (n=)	会話頻度				会話 経験・計
				二回以上ある	一回はある	一回もない	覚えていない	
全体		(3,152)	(3,152)	2.9	4.3	85.2	7.6	7.2
性別	男性	(1,625)	(1,799)	4.4	5.2	84.0	6.5	9.6
	女性	(1,527)	(1,353)		3.2	86.8	9.1	4.1
年代別	10代 (18-19歳)	(314)	(69)		3.8	73.6	21.3	5.1
	20代	(477)	(359)		4.6	77.4	16.1	6.5
	30代	(463)	(414)		3.9	85.3	8.9	5.8
	40代	(462)	(539)	3.0	3.7	85.3	8.0	6.7
	50代	(452)	(490)	3.3	5.1	83.2	8.4	8.4
	60代	(484)	(462)	3.3	3.7	89.5	3.5	7.0
	70代以上	(500)	(819)	3.4	4.8	88.2	3.6	8.2
自民党 への 評価別	評価する・計	(1,036)	(1,102)	4.7	6.5	84.5	4.3	11.2
	とても評価する	(157)	(169)	8.0	10.5	76.4	5.2	18.4
	多少評価する	(879)	(932)	4.1	5.8	86.0	4.1	9.9
	どちらともいえない	(444)	(416)		3.4	83.2	12.4	4.4
	評価しない・計	(1,072)	(1,157)	2.8	3.6	89.1	4.5	6.4
	あまり評価しない	(608)	(648)	3.2	4.6	87.2	5.0	7.7
	全く評価しない	(464)	(510)	2.4	2.3	91.4	3.9	4.7
	わからない	(600)	(477)		2.0	78.9	18.5	2.6

※2.0未満のスコアは非表示

調査結果の詳細

1. 生活実態
2. 選挙での投票実態
3. 政策上の価値観について
4. 政治家に対する評価
5. 時事問題への意識

1. 生活実態

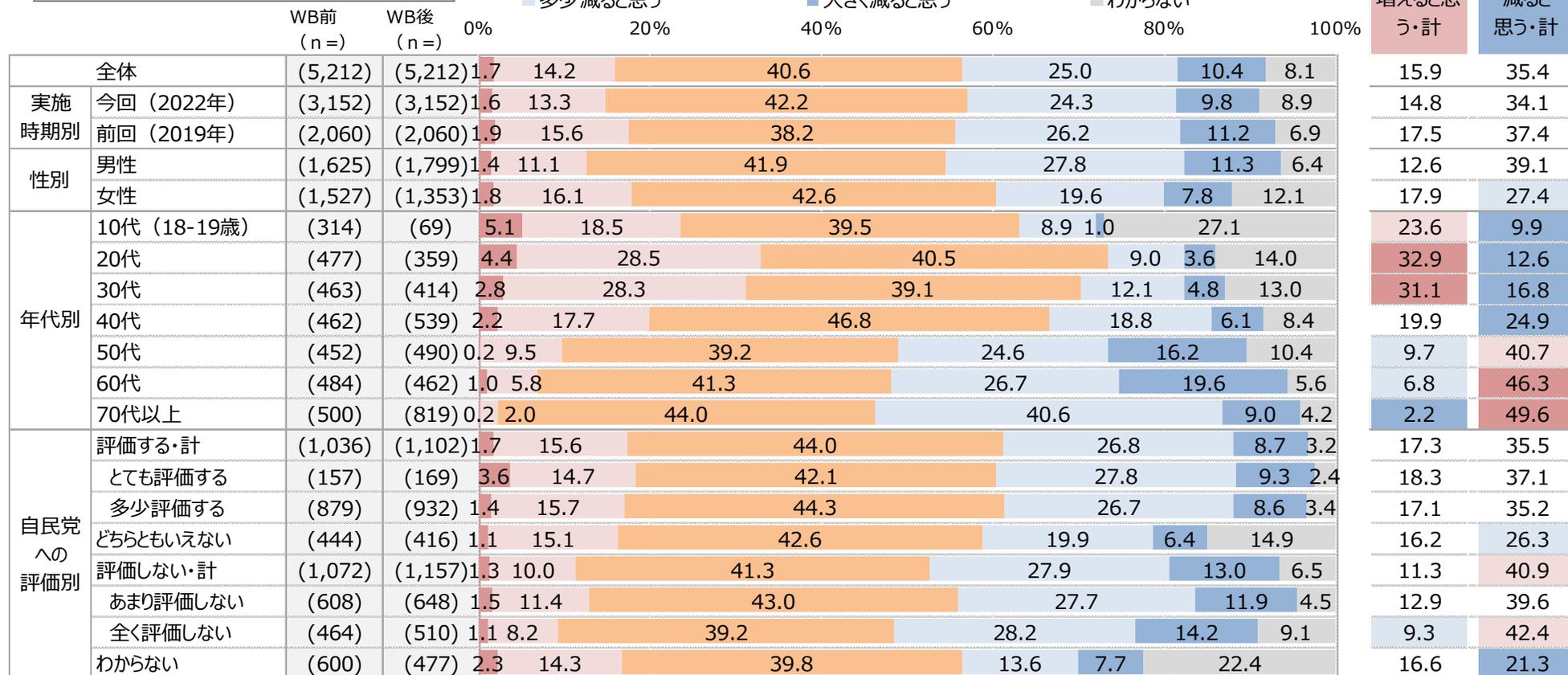
今後の世帯収入の増減見込み

今後の世帯年収の見通しをみると全体では、「いまと変わらないと思う」が40.6%で最も多い。
減ると思う・計【「大きく減ると思う」+「多少減ると思う」】は35.4%で、増えると思う・計【「大きく増えると思う」+「多少増えると思う」】
15.9%を大きく上回る。
年代別でみると10-30代で増えると思う・計、50-70代以上で減ると思う・計の割合がそれぞれ高く、年代で今後の世帯年収の見通しに差が見られた。自民党への評価別では、評価しない・計で減ると思う・計の割合がやや高い。

n=30以上の場合 [比率の差]

全体 +10ポイント
全体 +5ポイント
全体 -5ポイント
全体 -10ポイント

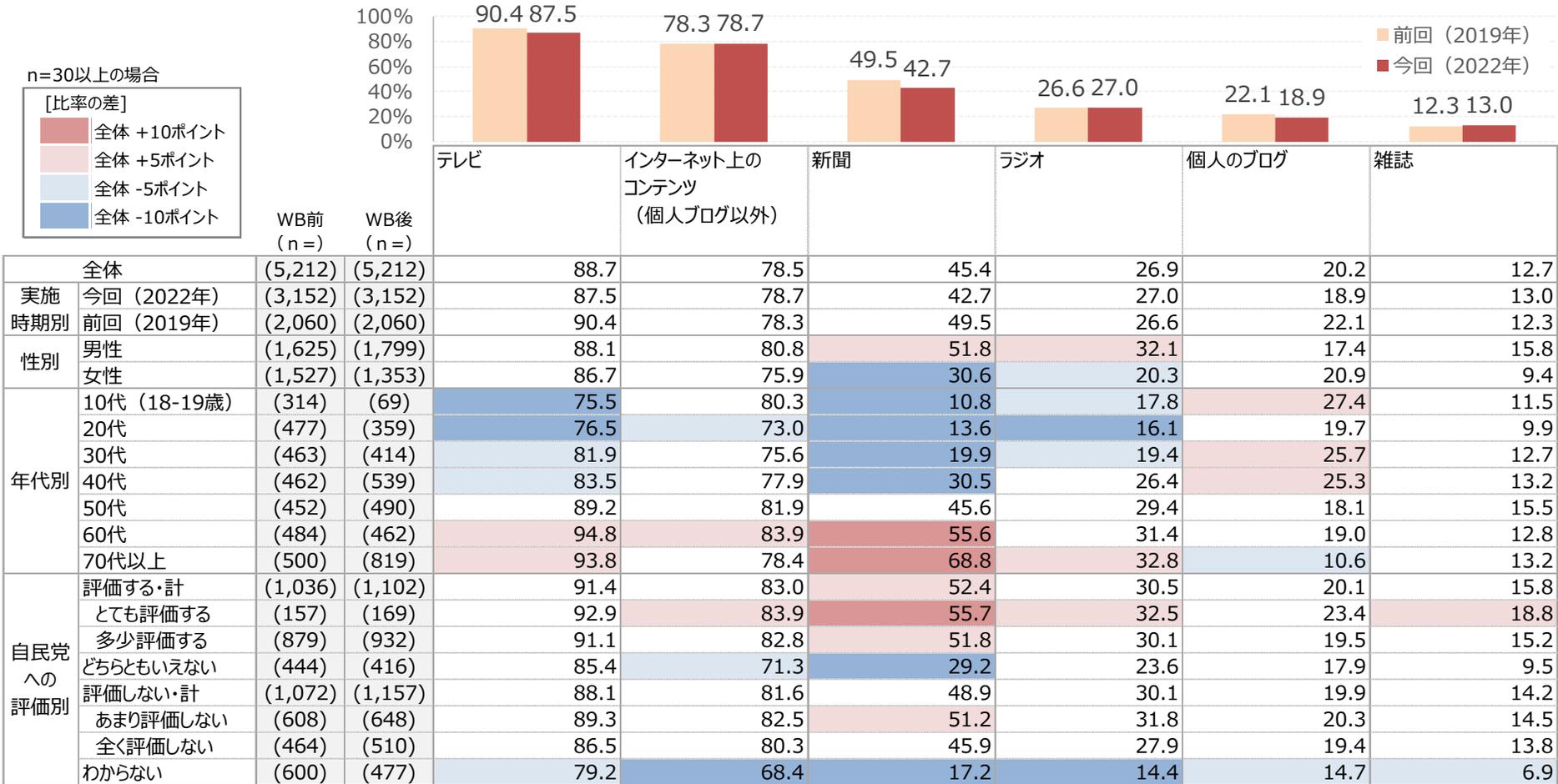
大きく増えると思う
多少増えると思う
いまと変わらないと思う
多少減ると思う
大きく減ると思う
わからない



定期的に利用するメディア

定期的に利用するメディア（毎日必ず利用する+ほぼ毎日利用する+毎日ではないが定期的にご利用している）は、「テレビ」が88.7%でトップ。以下「インターネット上のコンテンツ」(78.5%)、「新聞」(45.4%)、「ラジオ」(26.9%)とつづく。前回よりも「新聞」はスコアを下げた。自民党への評価別では、評価(「とても評価する」+「多少評価する」)で「新聞」の割合が高い。

Q：あなたが日頃ご覧になるメディアについて、当てはまるものをそれぞれお答えください。



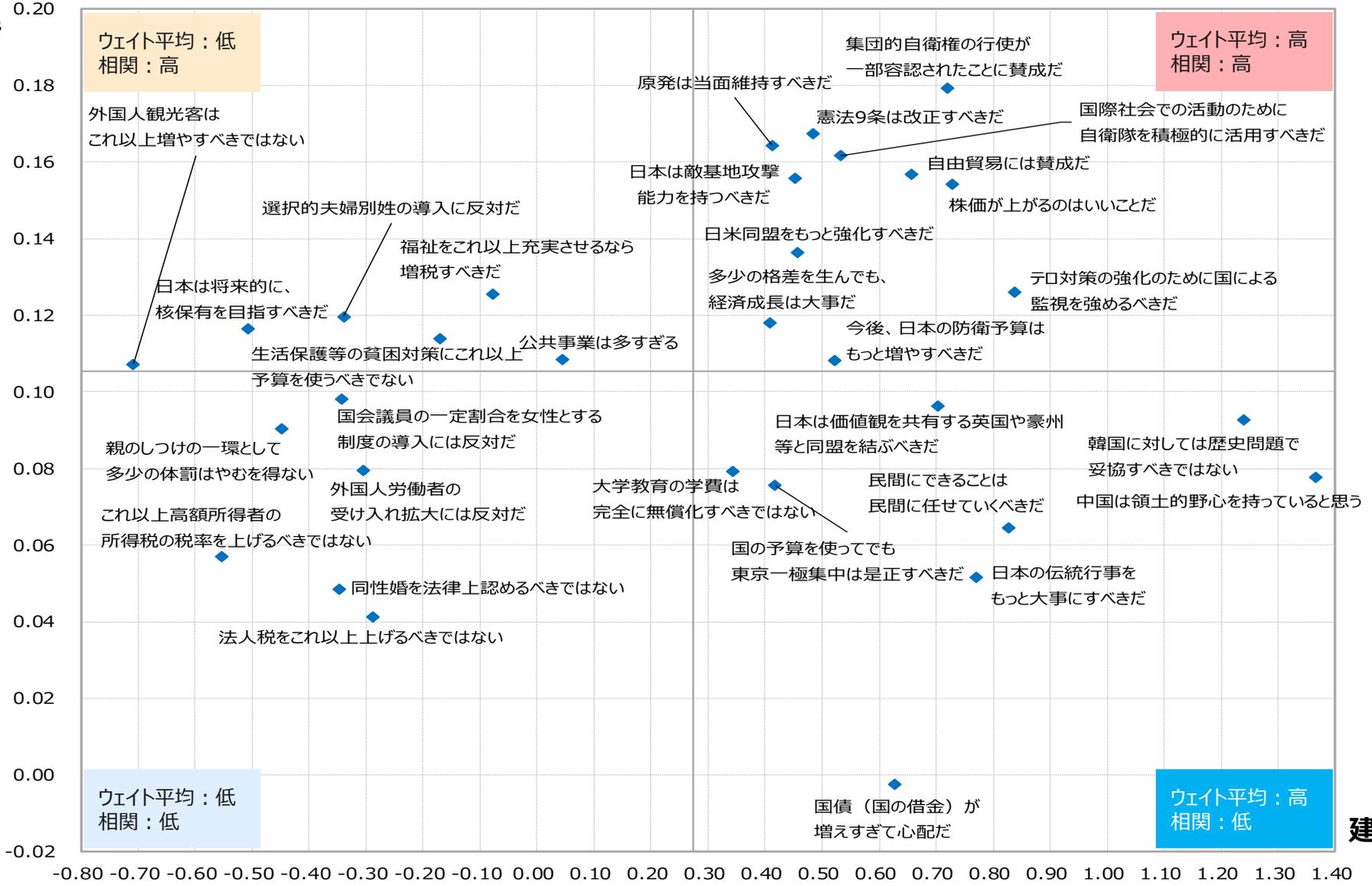
「今回 (2022年)」のスコアにて降順ソート。

2. 選挙での投票実態

日本人の価値観の平均値と自民党への投票に影響する度合い

縦軸に、自民党への投票回数と各評価への相関係数、横軸に各項目の評価(ウェイト平均)をプロットした。

本音

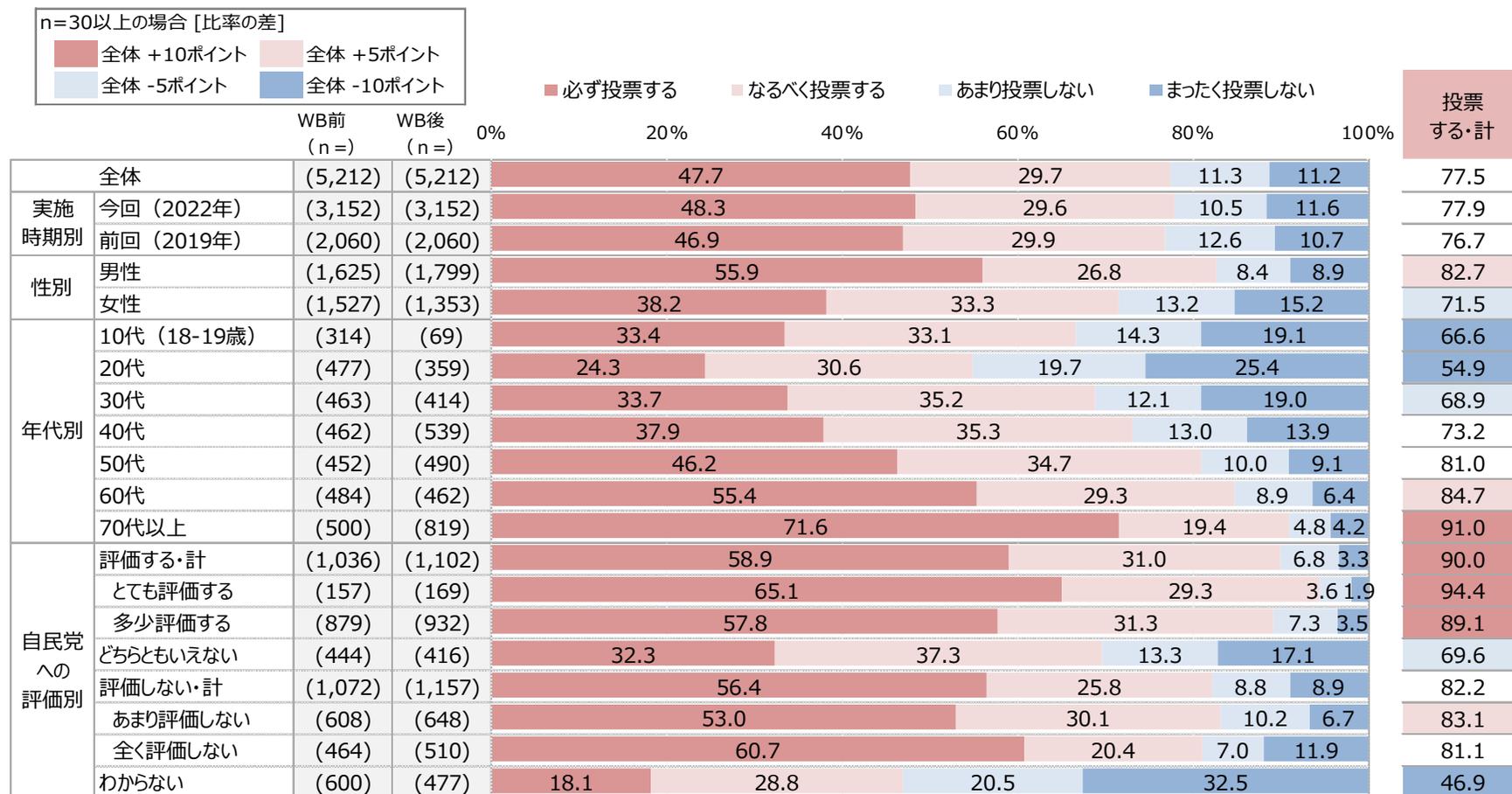


建前

普段の投票実態

普段の投票実態をみると、投票する・計は77.5%（内訳「必ず投票する」が47.7%、「なるべく投票する」が29.7%）となっている。性別では男性、年代別では60代以上、自民党への評価別では評価する・計（「とても評価する」+「多少評価する」）で投票する・計のスコアが全体に比べ高い。70代以上では「必ず投票する」が7割を超える。

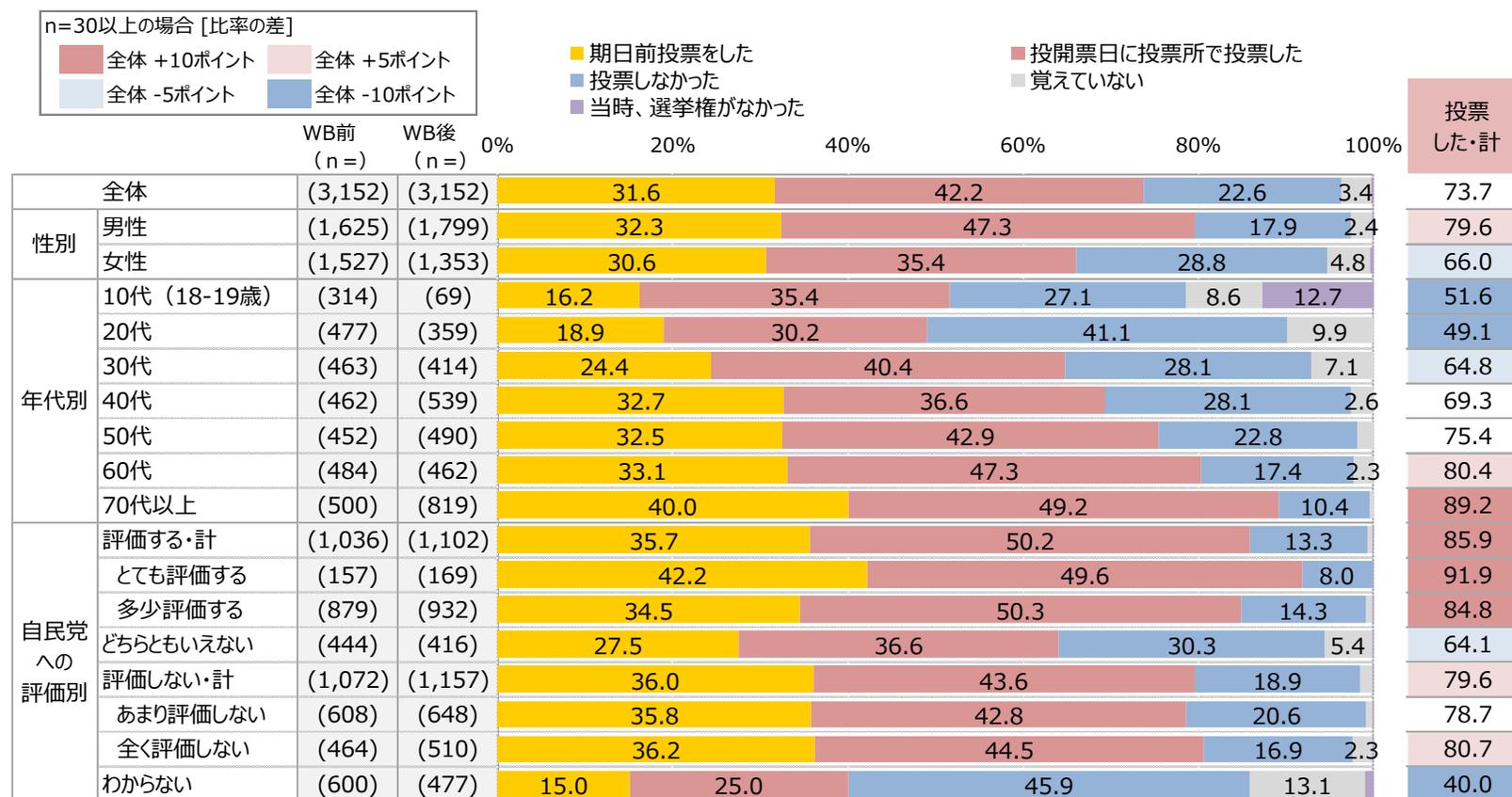
Q：選挙での投票についてお聞きします。当てはまるものをお答えください。



2021年10月の衆議院選挙における投票実態

昨年10月の衆議院選挙での投票実態をみると、投票した・計は73.7%（内訳は「投開票日に投票所で投票した」が42.2%、「期日前投票をした」が31.6%）となっている。性別では男性、年代別では60代以上、自民党への評価別では評価する・計（「とても評価する」+「多少評価する」）で投票した・計のスコアが全体に比べ高い。

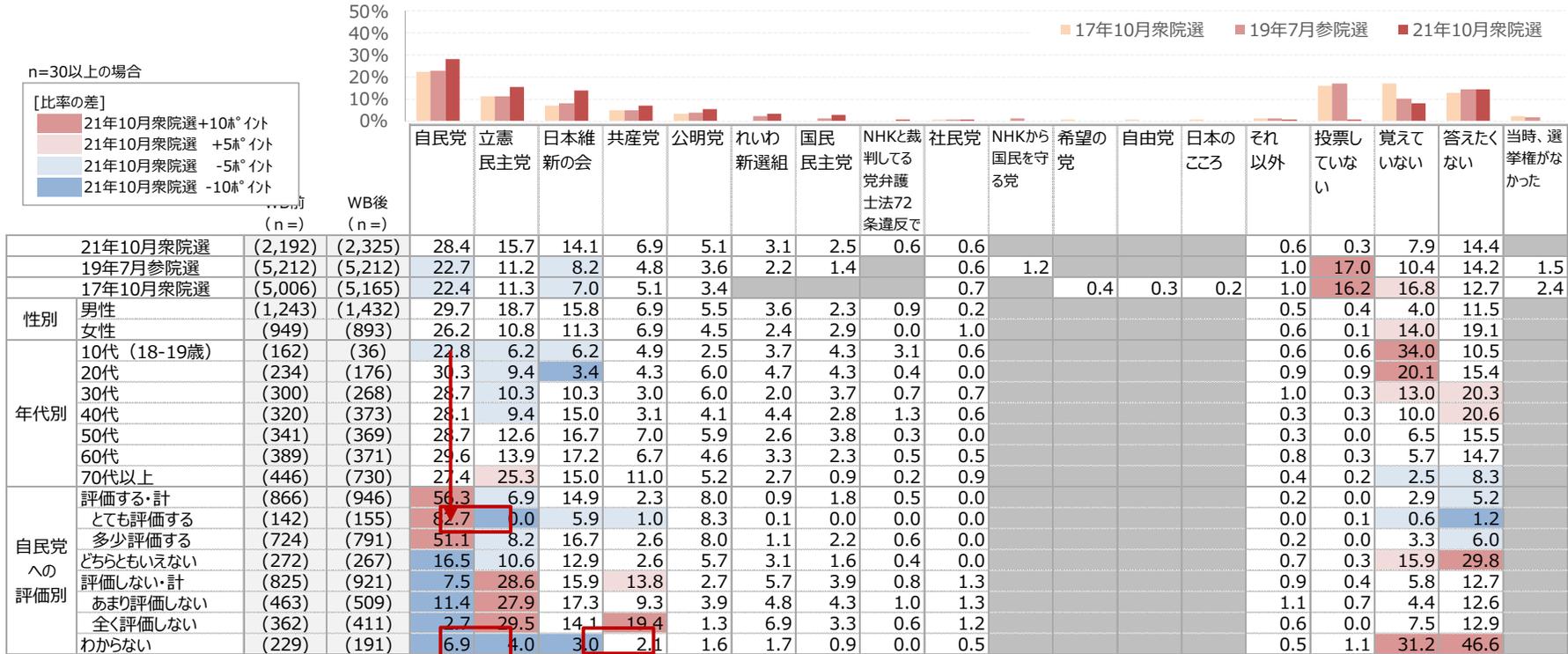
Q：昨年10月の衆議院選挙についてお聞きます。当てはまるものをお答えください



2021年衆院選の選挙区での投票先

年代別でみると、いずれも「自民党」がトップではあるものの、年代が上がるにつれて「立憲民主党」のスコアが高くなる傾向がある。70代以上では約3割にのぼる。自民党への評価別でみると、評価しない・計で「立憲民主党」「共産党」の割合が高い傾向。

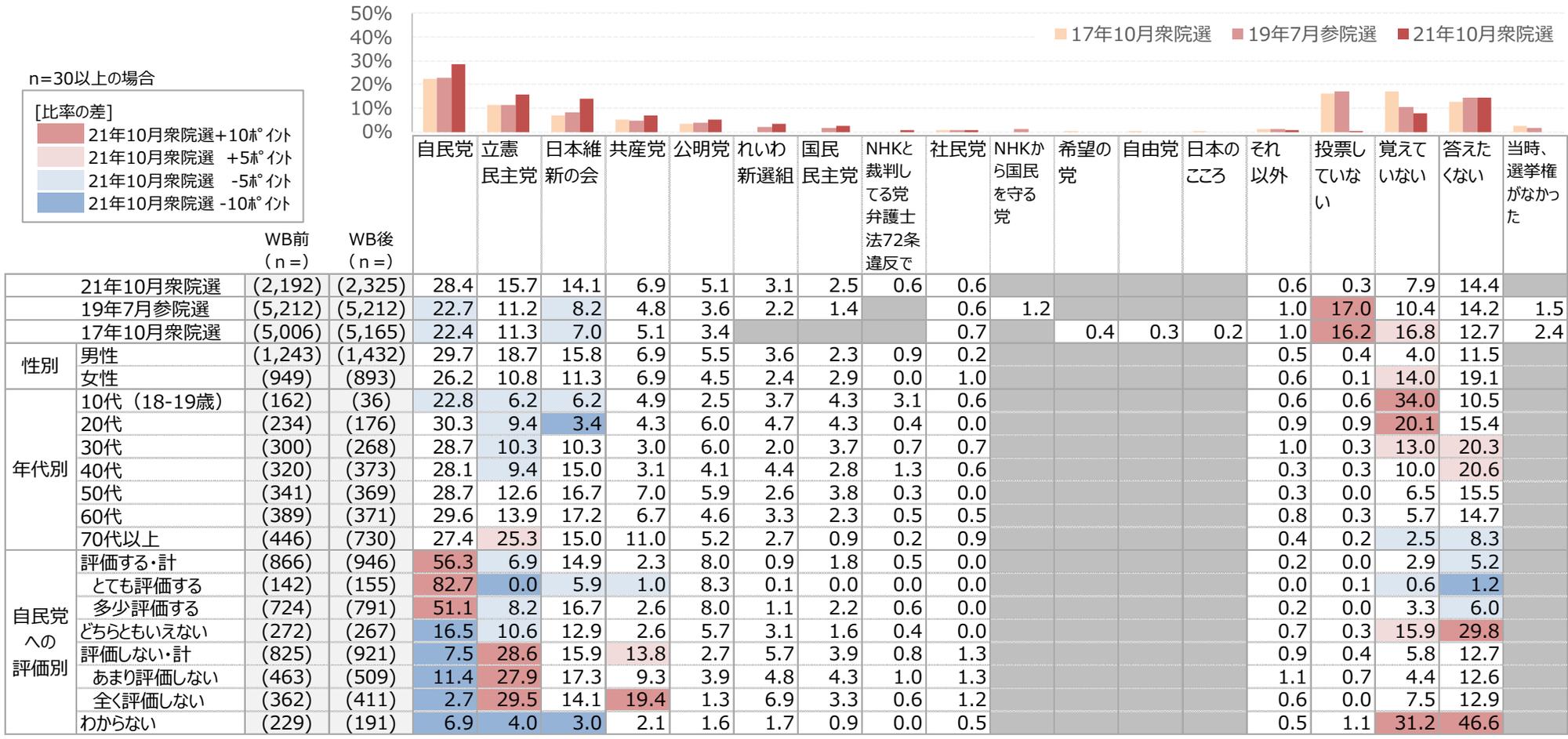
※各投票者ベース



Red boxes highlighting the 2021 results for '立憲' (11.4%) and '共産' (14.1%) in the '全く評価しない' category.

2021年衆院選の比例代表での投票先

年代別でみると、いずれも「自民党」がトップではあるが、70代以上では「自民党」が27.4%、「立憲民主党」が25.3%と拮抗。自民党への評価別でみると、評価しない・計で「立憲民主党」「共産党」の割合が高い傾向。



「21年10月衆院選」のスコアにて降順ソート。

調査結果の詳細

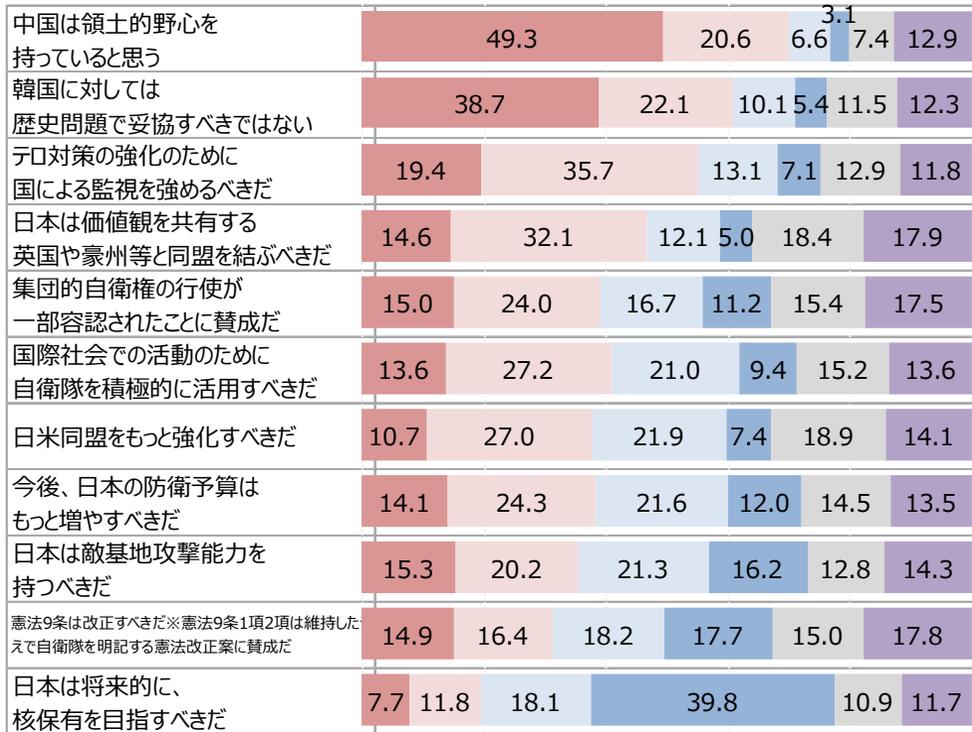
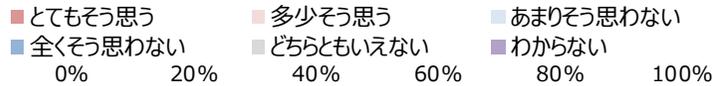
3. 政策上の価値観について

外交・安全保障に関する価値観

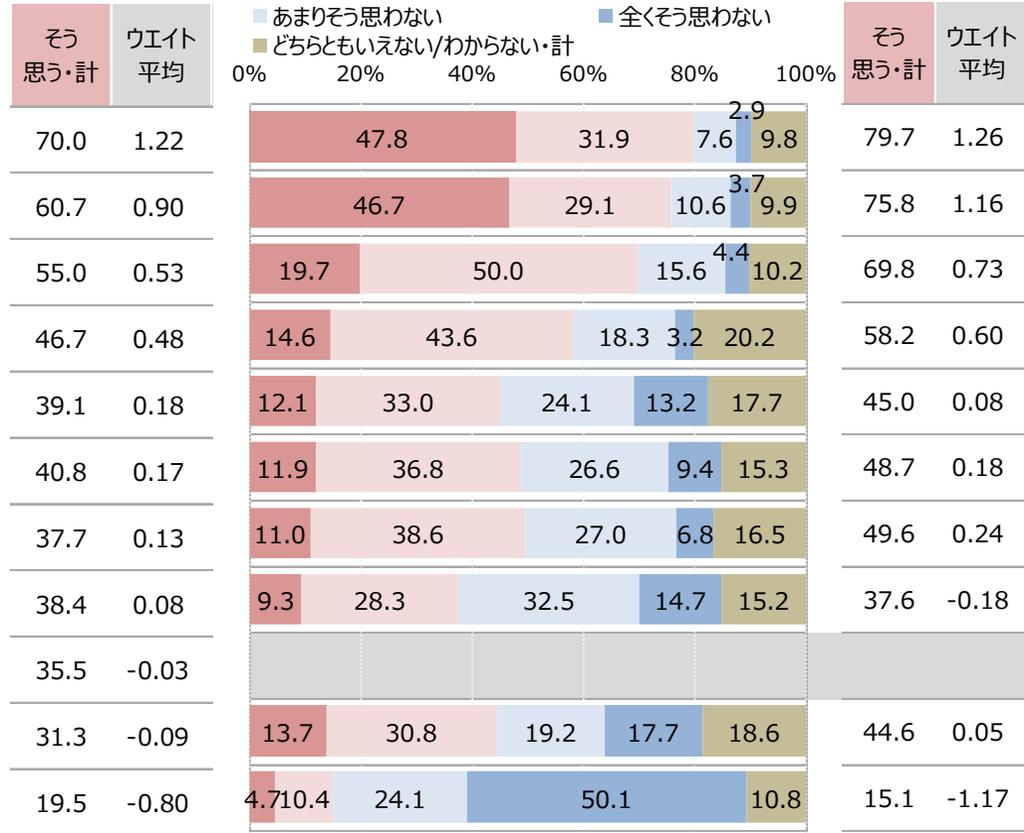
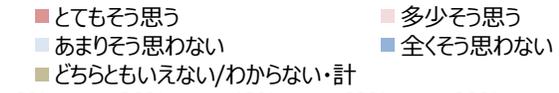
「中国は領土的野心を持っていると思う」のウエイト平均が1.22と最も高く、次いで「韓国に対しては歴史問題で妥協すべきではない」(0.90)が続く。一方「日本は将来的に、核保有を目指すべきだ」についてはウエイト平均が-0.80となっており、否定的。

Q： 外交及び安全保障についてお聞きします。下記のそれぞれの主張についてお考えに当てはまるものをお答えください。

今回 (2022年)



前回 (2019年)



※ウエイト平均：「とてもそう思う (2)」「多少そう思う (1)」「どちらともいえない (0)」「あまりそう思わない (-1)」「全くそう思わない (-2)」にて算出。

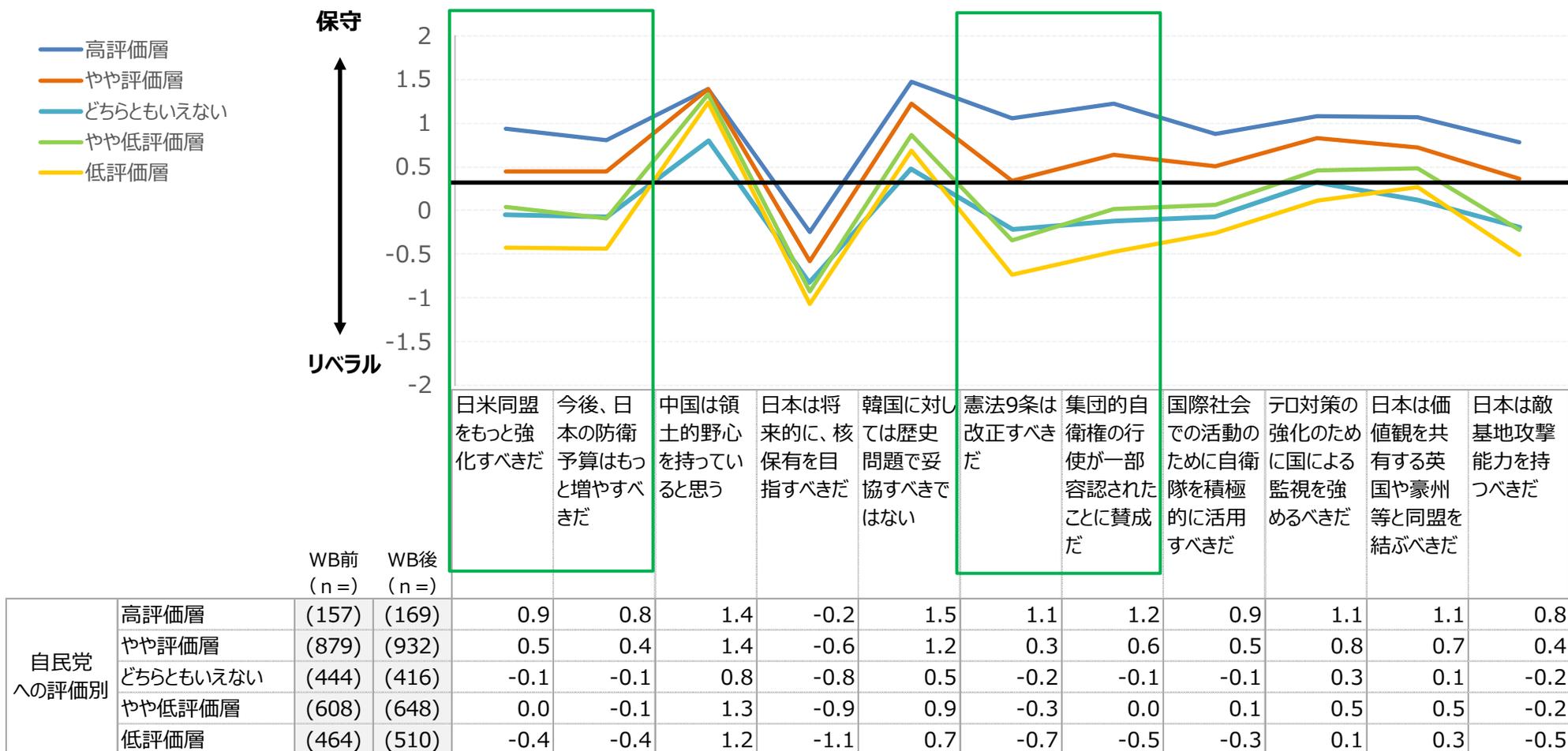
※前回と今回で項目が異なる場合は、※で前回選択肢を追記。

外交・安全保障に関する価値観

自民党への評価別にみると、「日米同盟をもっと強化すべきだ」「今後、日本の防衛予算はもっと増やすべきだ」「憲法9条は改正すべきだ」「集団的自衛権の行使が一部容認されたことに賛成だ」でギャップが見られた。

Q： 外交及び安全保障についてお聞きます。下記のそれぞれの主張についてお考えに当てはまるものをお答えください。

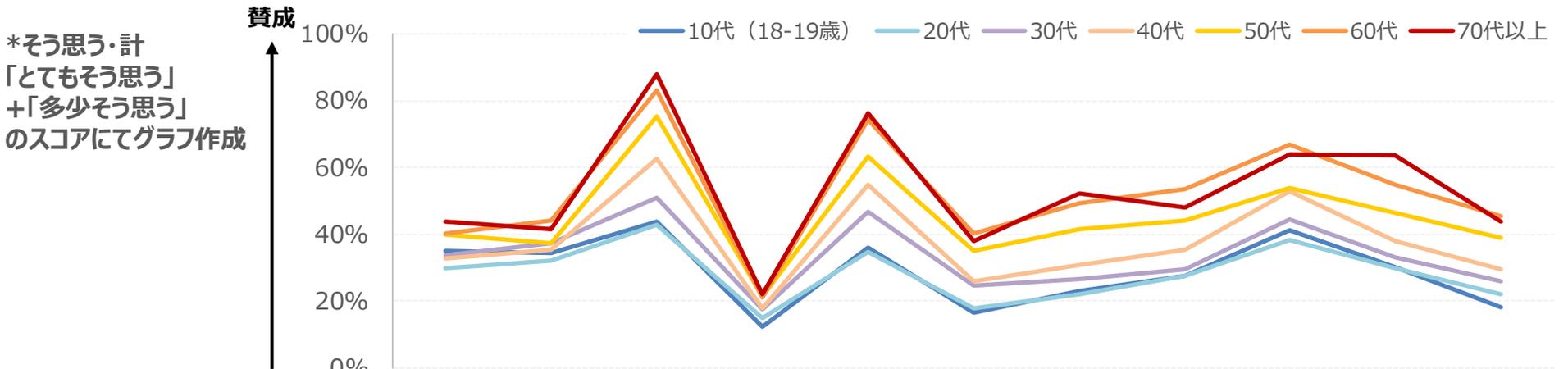
※ウエイト平均：「とてもそう思う（2）」「多少そう思う（1）」「どちらともいえない（0）」「あまりそう思わない（-1）」「全くそう思わない（-2）」にて算出。



外交・安全保障に関する価値観（保守ベース：年代別）

年代別でみると、全体的に年代が上がるにつれてスコアも高くなる傾向にある。中国の領土的野心、韓国との歴史問題、集団的自衛権行使の一部容認、テロ対策などで60代以上のスコアがほかの年代に比べて高くなっている。

Q： 外交及び安全保障についてお聞きします。下記のそれぞれの主張についてお考えに当てはまるものをお答えください。

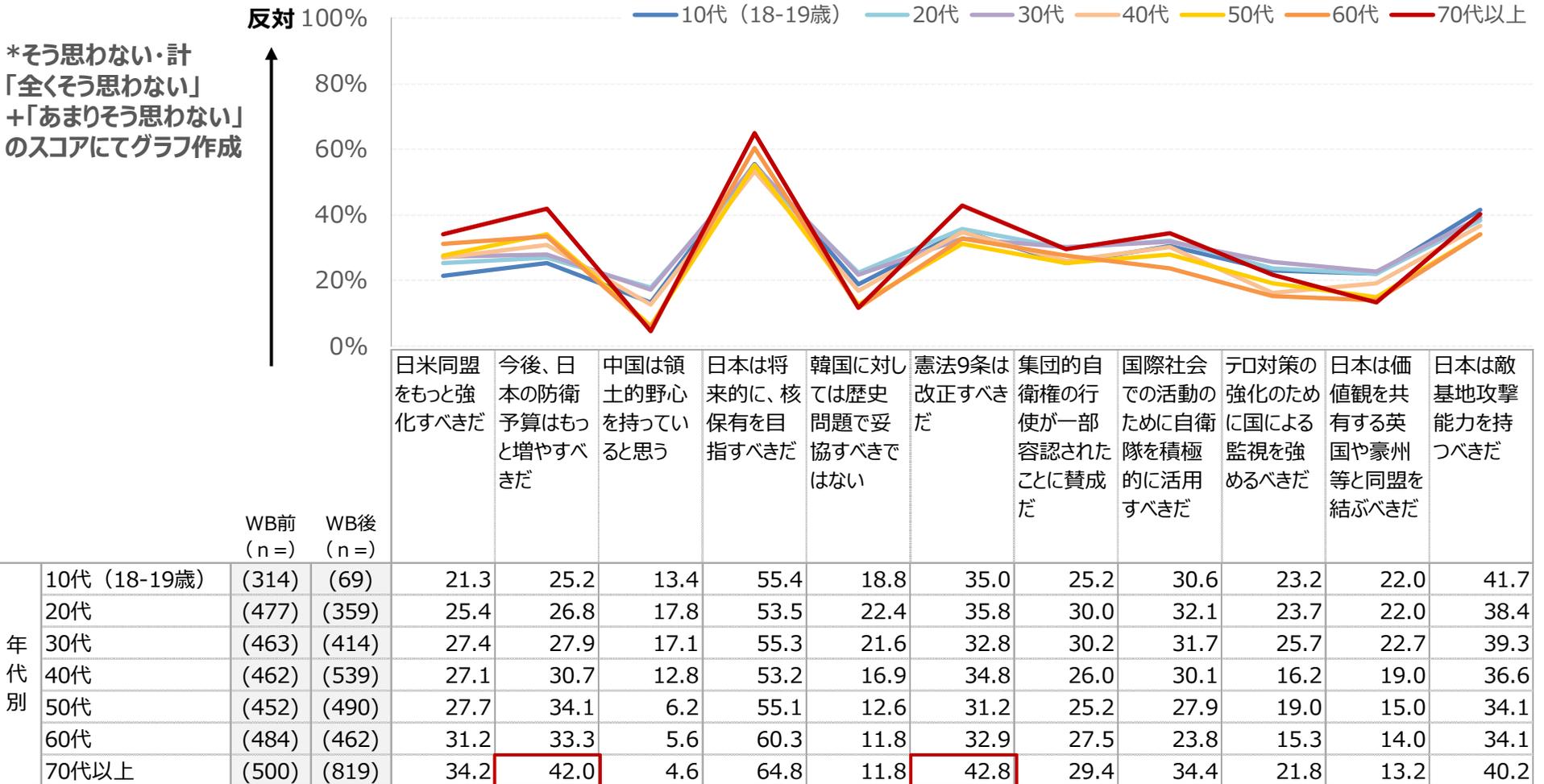


年代別		WB前	WB後	日米同盟をもっと強化すべきだ	今後、日本の防衛予算をもっと増やすべきだ	中国は領土的野心を持っていると思う	日本は将来的に、核保有を目指すべきだ	韓国に対しては歴史問題で妥協すべきではない	憲法9条は改正すべきだ	集団的自衛権の行使が一部容認されたことに賛成だ	国際社会での活動のために自衛隊を積極的に活用すべきだ	テロ対策の強化のために国による監視を強めるべきだ	日本は価値観を共有する英国や豪州等と同盟を結ぶべきだ	日本は敵基地攻撃能力を持つべきだ
		(n=)	(n=)											
	10代（18-19歳）	(314)	(69)	35.0	34.4	43.9	12.4	36.0	16.6	22.9	27.7	41.1	30.3	18.2
	20代	(477)	(359)	29.8	32.3	43.0	14.9	34.6	17.8	22.2	27.7	38.4	29.8	22.0
	30代	(463)	(414)	33.9	37.4	51.0	17.5	46.7	24.6	26.6	29.6	44.5	33.0	26.1
	40代	(462)	(539)	32.7	35.5	62.6	18.0	54.8	26.0	31.0	35.3	53.0	38.1	29.4
	50代	(452)	(490)	40.0	37.2	75.2	21.5	63.3	35.0	41.6	44.0	54.0	46.5	38.9
	60代	(484)	(462)	40.1	44.0	83.1	21.1	74.4	40.3	49.4	53.5	66.9	55.0	45.5
	70代以上	(500)	(819)	43.8	41.4	88.0	22.0	76.2	38.0	52.2	48.0	64.0	63.6	43.8

外交・安全保障に関する価値観（リベラルベース：年代別）

年代別で見ると、70代以上で、防衛予算増額と、憲法9条改正に関して反対意見を持つリベラルスコアが高くなっている。

Q： 外交及び安全保障についてお聞きします。下記のそれぞれの主張についてお考えに当てはまるものをお答えください。

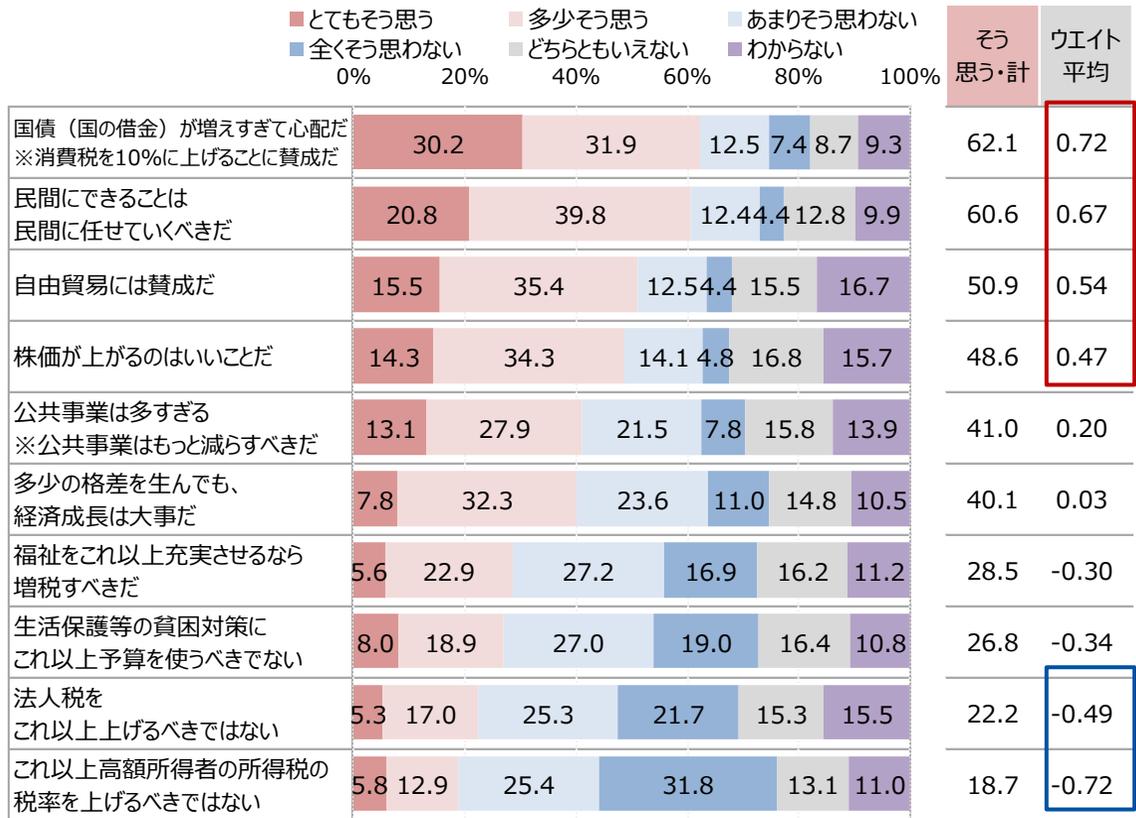


経済問題に関する価値観

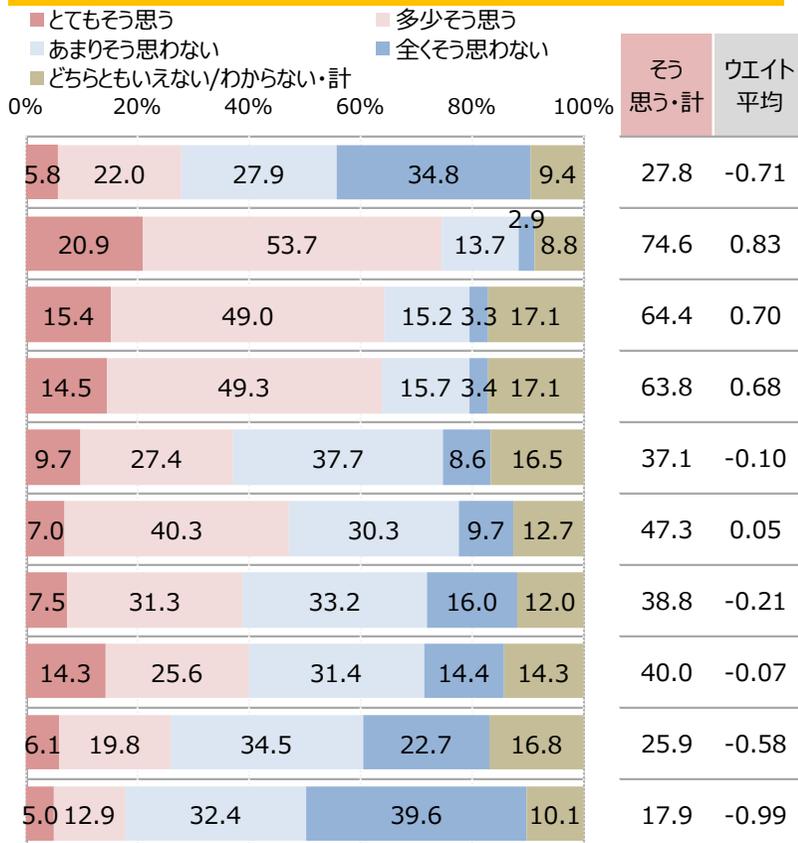
経済問題に対する意識は、「国債(国の借金)が増えすぎて心配だ」のウエイト平均が0.72と最も高く、次いで「民間にできることは民間に任せていくべきだ」(0.67)、「自由貿易には賛成だ」(0.54)、「株価が上がるのはいいことだ」(0.47)が続く。一方、「これ以上高額所得者の所得税の税率を上げるべきではない」「法人税をこれ以上上げるべきではない」については否定的な様子が見られる。

Q： 経済問題についてお聞きします。下記のそれぞれの主張についてお考えに当てはまるものをお答えください。

今回 (2022年)



前回 (2019年)



※ウエイト平均：「とてもそう思う(2)」「多少そう思う(1)」「どちらともいえない(0)」「あまりそう思わない(-1)」「全くそう思わない(-2)」にて算出。

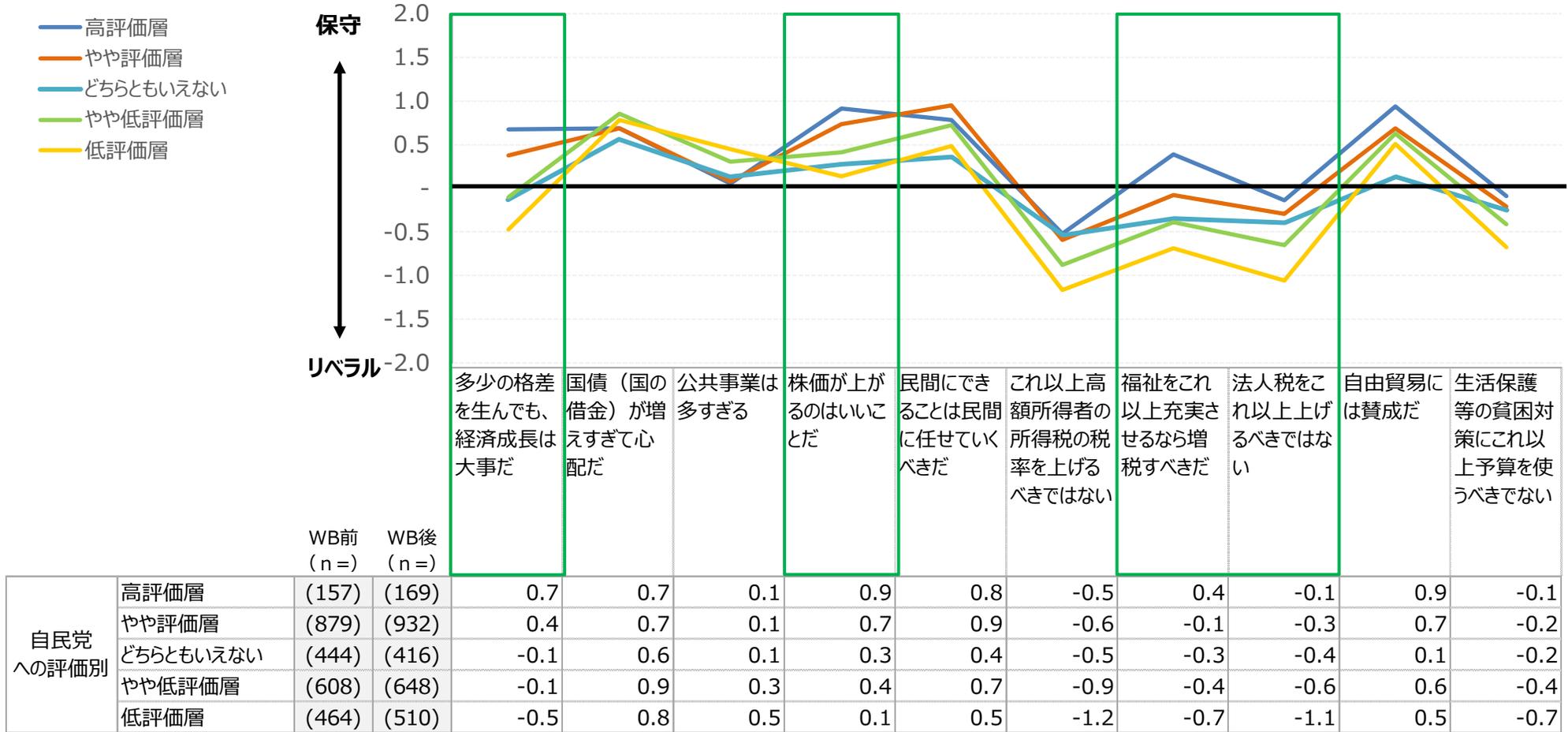
※前回と今回で項目が異なる場合は、※で前回選択肢を追記。

経済問題に関する価値観

自民党への評価別にみると、「多少の格差を生んでも、経済成長は大事だ」「株価が上がるのはいいことだ」「福祉をこれ以上充実させるなら増税すべきだ」「法人税をこれ以上上げるべきではない」でギャップが見られた。

Q： 経済問題についてお聞きします。下記のそれぞれの主張についてお考えに当てはまるものをお答えください。

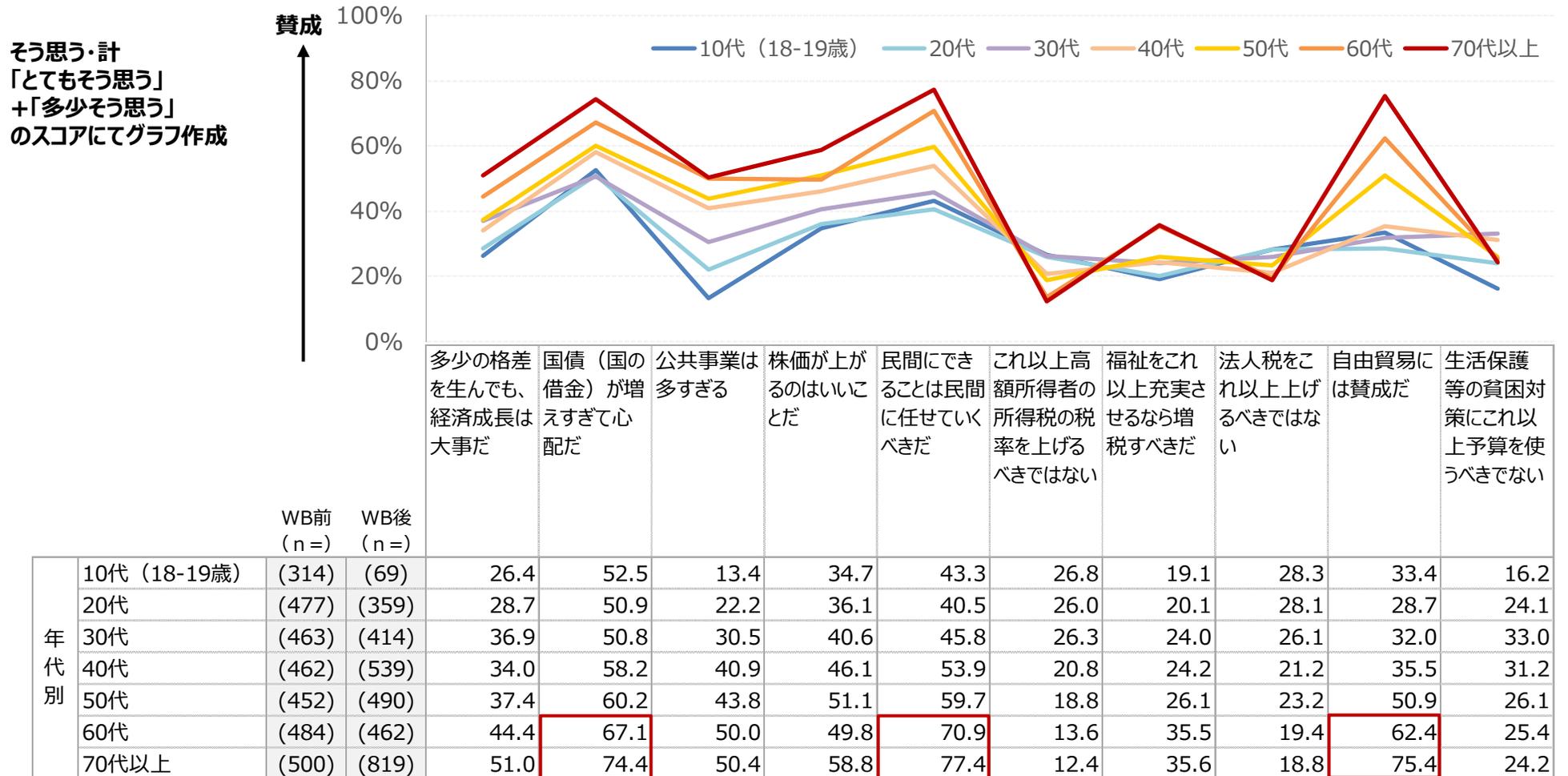
※ウエイト平均：「とてもそう思う（2）」「多少そう思う（1）」「どちらともいえない（0）」「あまりそう思わない（-1）」「全くそう思わない（-2）」にて算出。



経済問題に関する価値観（保守ベース：年代別）

年代別でみると、60代以上で「国債(国の借金)が増えすぎて心配だ」「民間にできることは民間に任せていくべきだ」「自由貿易には賛成だ」が他の年代に比べスコアが高くなっている。

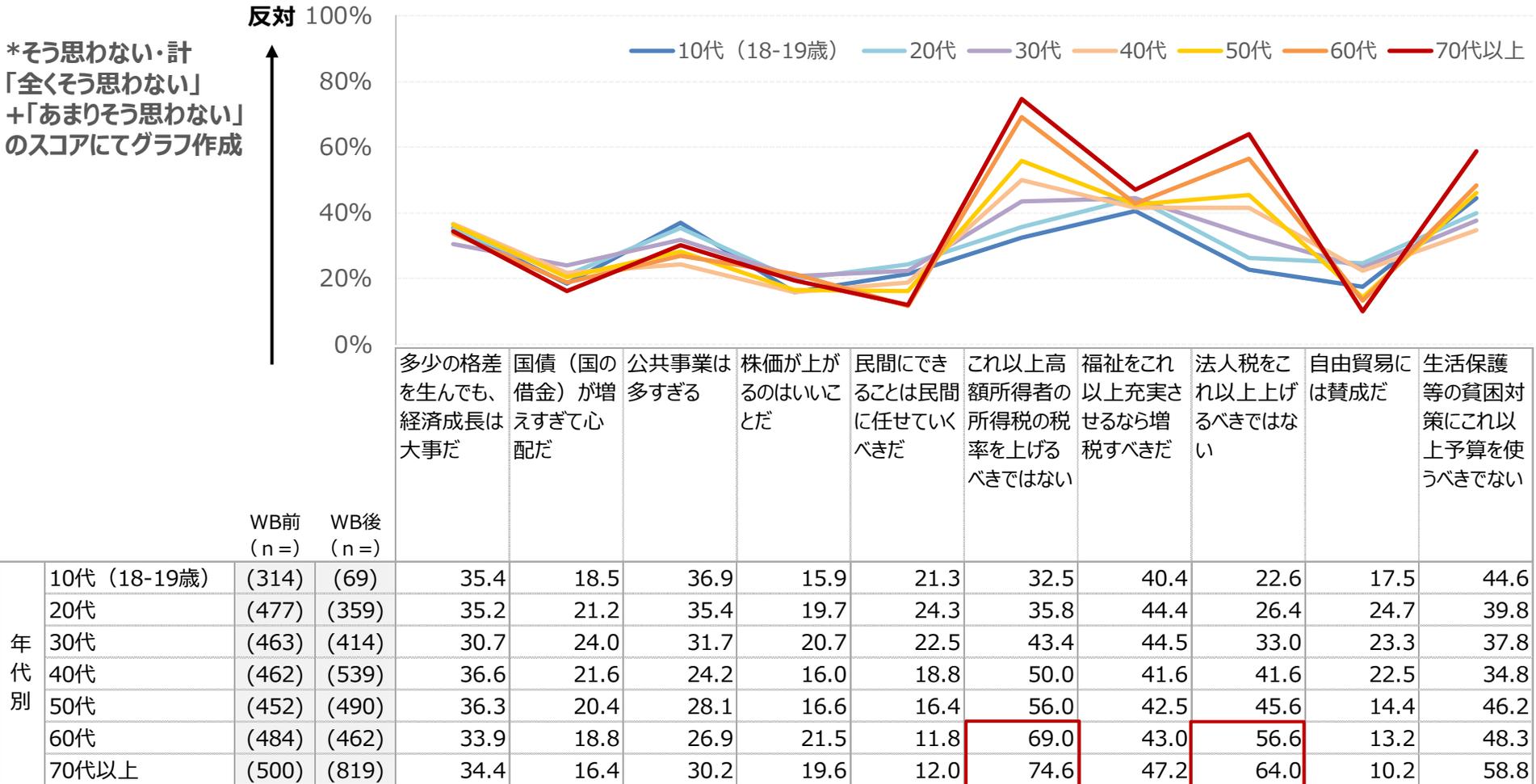
Q： 経済問題についてお聞きします。下記のそれぞれの主張についてお考えに当てはまるものをお答えください。



経済問題に関する価値観（リベラルベース：年代別）

年代別でみると、60代以上で「これ以上高額所得者の所得税の税率を上げるべきではない」「法人税をこれ以上上げるべきではない」のスコアが高くなっている。

Q： 経済問題についてお聞きします。下記のそれぞれの主張についてお考えに当てはまるものをお答えください。

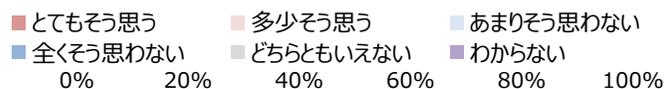


社会問題に関する価値観

社会問題に対する意識は、「日本の伝統行事をもっと大事にすべきだ」のウエイト平均が0.62と最も高く、次いで「国の予算を使ってでも東京一極集中は是非すべきだ」(0.36)が続く。一方「選択的夫婦別姓の導入に反対だ（※前回は「夫婦別姓に反対だ」で聴取）」「外国人観光客はこれ以上増やすべきではない」「同性婚を法律上認めるべきではない（※前回は「同性愛者を特別扱いすべきではない」で聴取）」などについてはウエイト平均のマイナスが大きく否定的な様子がうかがえる。

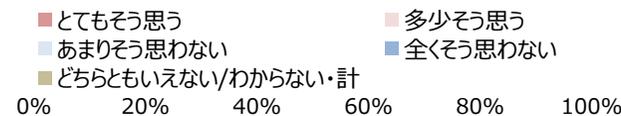
Q：社会問題についてお聞きします。下記のそれぞれの主張についてお考えに当てはまるものをお答えください。

今回（2022年）



	割合 (%)						そう 思う・計	ウエイト 平均
日本の伝統行事をもっと大事にすべきだ	20.4	40.5	12.2	6.0	13.8	7.1	60.9	0.62
国の予算を使ってでも東京一極集中は是非すべきだ	15.3	32.2	16.8	7.4	15.4	12.8	47.5	0.36
大学教育の学費は完全に無償化すべきではない	16.0	28.3	18.0	14.0	14.2	9.6	44.2	0.16
原発は当面維持すべきだ	10.4	25.8	18.7	18.1	15.4	11.6	36.2	-0.09
外国人労働者の受け入れ拡大には反対だ	7.8	17.7	31.2	18.2	15.9	9.2	25.5	-0.38
国会議員の一定割合を女性とする制度の導入には反対だ	6.6	13.9	27.8	24.4	17.2	10.1	20.5	-0.55
親のしつけの一環として多少の体罰はやむを得ない	3.8	20.9	26.5	27.5	13.6	7.7	24.7	-0.57
同性婚を法律上認めるべきではない※同性愛者を特別扱いすべきではない	7.9	11.5	25.0	28.1	15.6	11.9	19.4	-0.61
外国人観光客はこれ以上増やすべきではない	5.4	14.5	32.2	25.1	14.4	8.5	19.9	-0.62
選択的夫婦別姓の導入に反対だ※夫婦別姓に反対だ	7.8	11.8	24.3	30.2	16.0	9.9	19.6	-0.64

前回（2019年）



	割合 (%)						そう 思う・計	ウエイト 平均
日本の伝統行事をもっと大事にすべきだ	24.4	53.4	13.3	6.1	2.8	6.1	77.8	0.89
国の予算を使ってでも東京一極集中は是非すべきだ	17.9	38.6	21.9	6.4	15.3	6.4	56.5	0.47
大学教育の学費は完全に無償化すべきではない	20.7	37.5	20.8	11.7	9.4	9.4	58.2	0.38
原発は当面維持すべきだ	8.6	29.8	24.0	24.6	12.9	12.9	38.4	-0.30
外国人労働者の受け入れ拡大には反対だ	10.7	23.7	39.9	14.8	10.9	10.9	34.4	-0.27
国会議員の一定割合を女性とする制度の導入には反対だ	6.7	20.5	38.0	21.6	13.1	13.1	27.2	-0.55
親のしつけの一環として多少の体罰はやむを得ない	6.9	34.3	28.7	21.0	9.1	9.1	41.2	-0.25
同性婚を法律上認めるべきではない※同性愛者を特別扱いすべきではない	18.2	43.8	17.5	8.3	12.3	12.3	62.0	0.53
外国人観光客はこれ以上増やすべきではない	7.8	19.0	41.0	22.3	10.0	10.0	26.7	-0.57
選択的夫婦別姓の導入に反対だ※夫婦別姓に反対だ	9.7	16.4	36.5	26.3	11.2	11.2	26.0	-0.60

※ウエイト平均：「とてもそう思う（2）」「多少そう思う（1）」「どちらともいえない（0）」「あまりそう思わない（-1）」「全くそう思わない（-2）」にて算出。

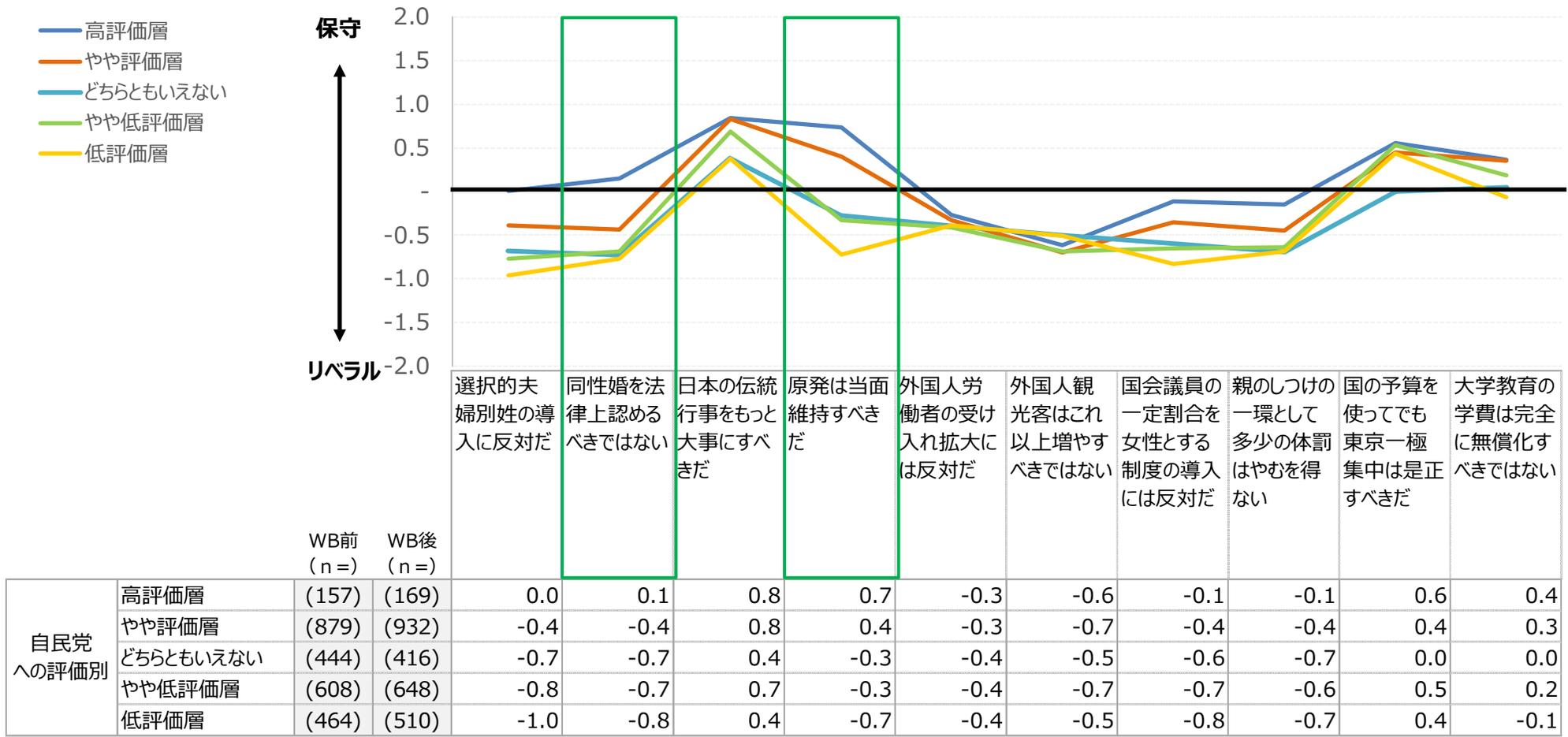
※前回と今回で項目が異なる場合は、※で前回選択肢を追記。

社会問題に関する価値観

自民党への評価別にみると、「同性婚を法律上認めるべきではない」「原発は当面維持すべきだ」で賛否が分かれるギャップが見られた。全般的に価値観は党派性にかかわらず収れんしており、自民党評価層でも選択的夫婦別姓に反対する意見は僅かにとどまる。

Q： 社会問題についてお聞きします。下記のそれぞれの主張についてお考えに当てはまるものをお答えください。

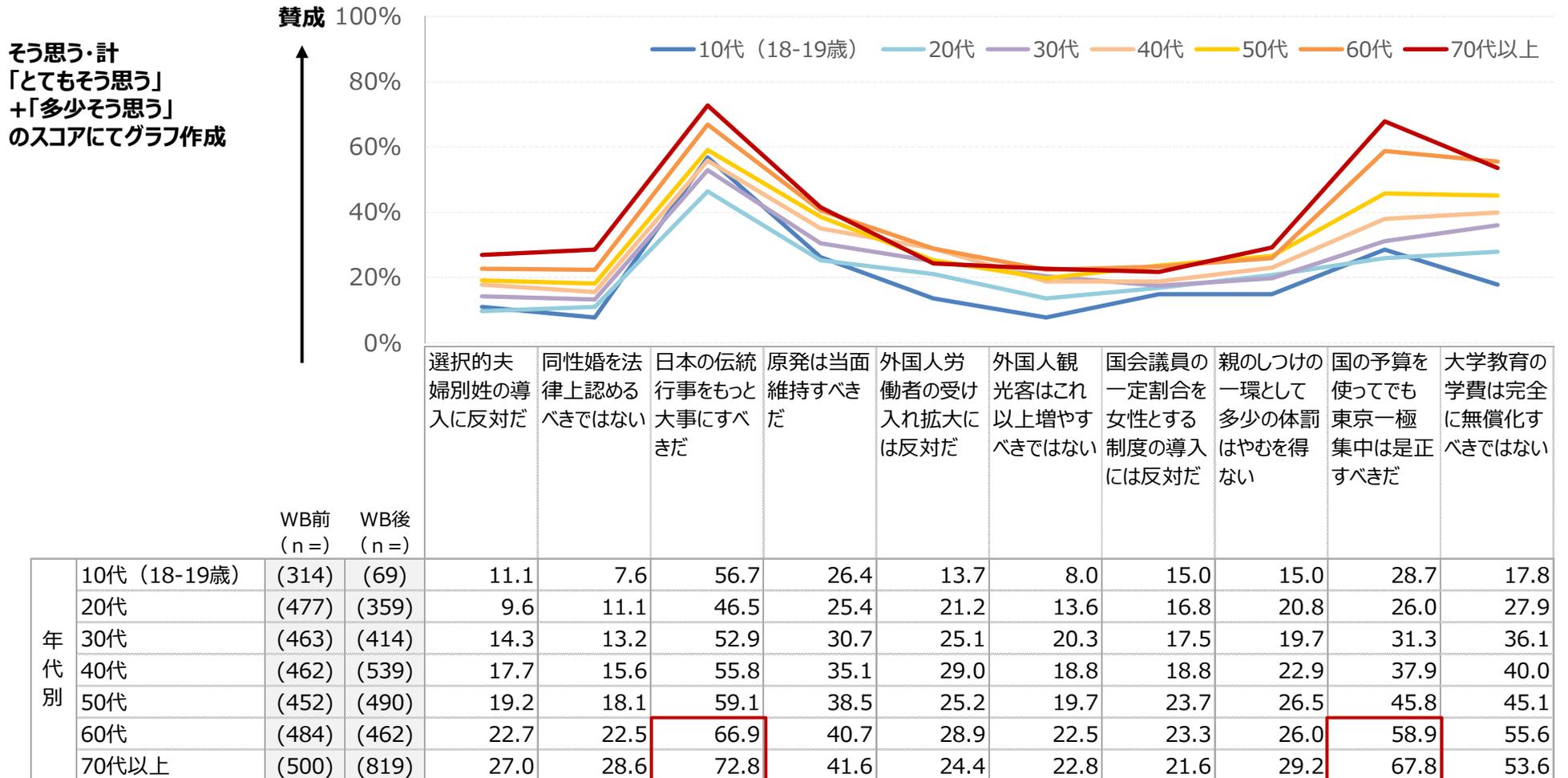
※ウエイト平均：「とてもそう思う（2）」「多少そう思う（1）」「どちらともいえない（0）」「あまりそう思わない（-1）」「全くそう思わない（-2）」にて算出。



社会問題に関する価値観（保守ベース：年代別）

年代別でみると、60代以上で「日本の伝統行事をもっと大事にすべきだ」「国の予算を使ってでも東京一極集中は是非すべきだ」が他の年代に比べスコアが高くなっている。

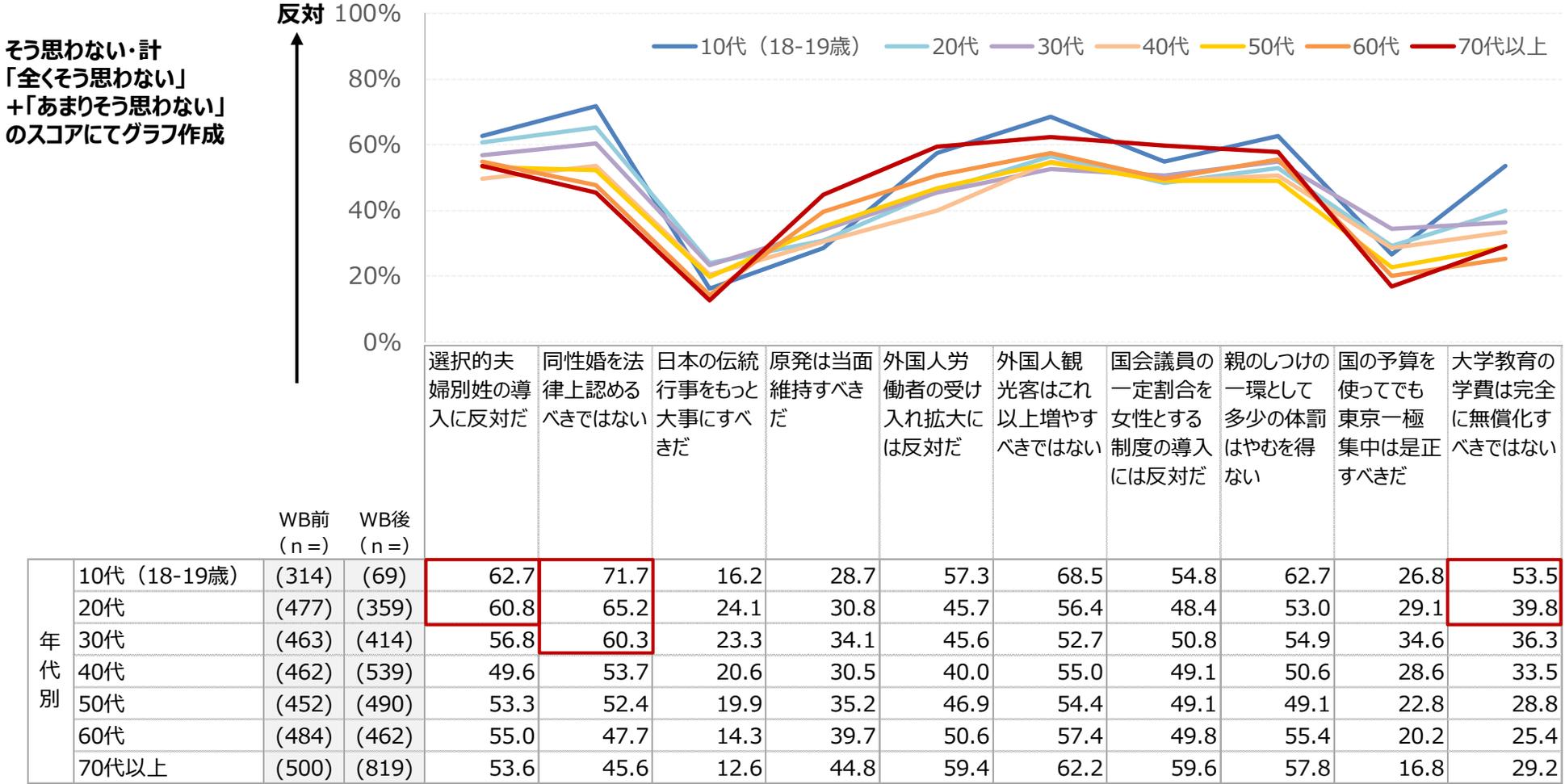
Q：社会問題についてお聞きします。下記のそれぞれの主張についてお考えに当てはまるものをお答えください。



社会問題に関する価値観（リベラルベース：年代別）

年代別でみると、10-20代で「選択的夫婦別姓の導入に反対だ」「大学教育の学費は完全に無償化すべきではない」
10-30代で「同性婚を法律上認めるべきではない」に反対が目立ち、リベラルスコアが高くなっている。

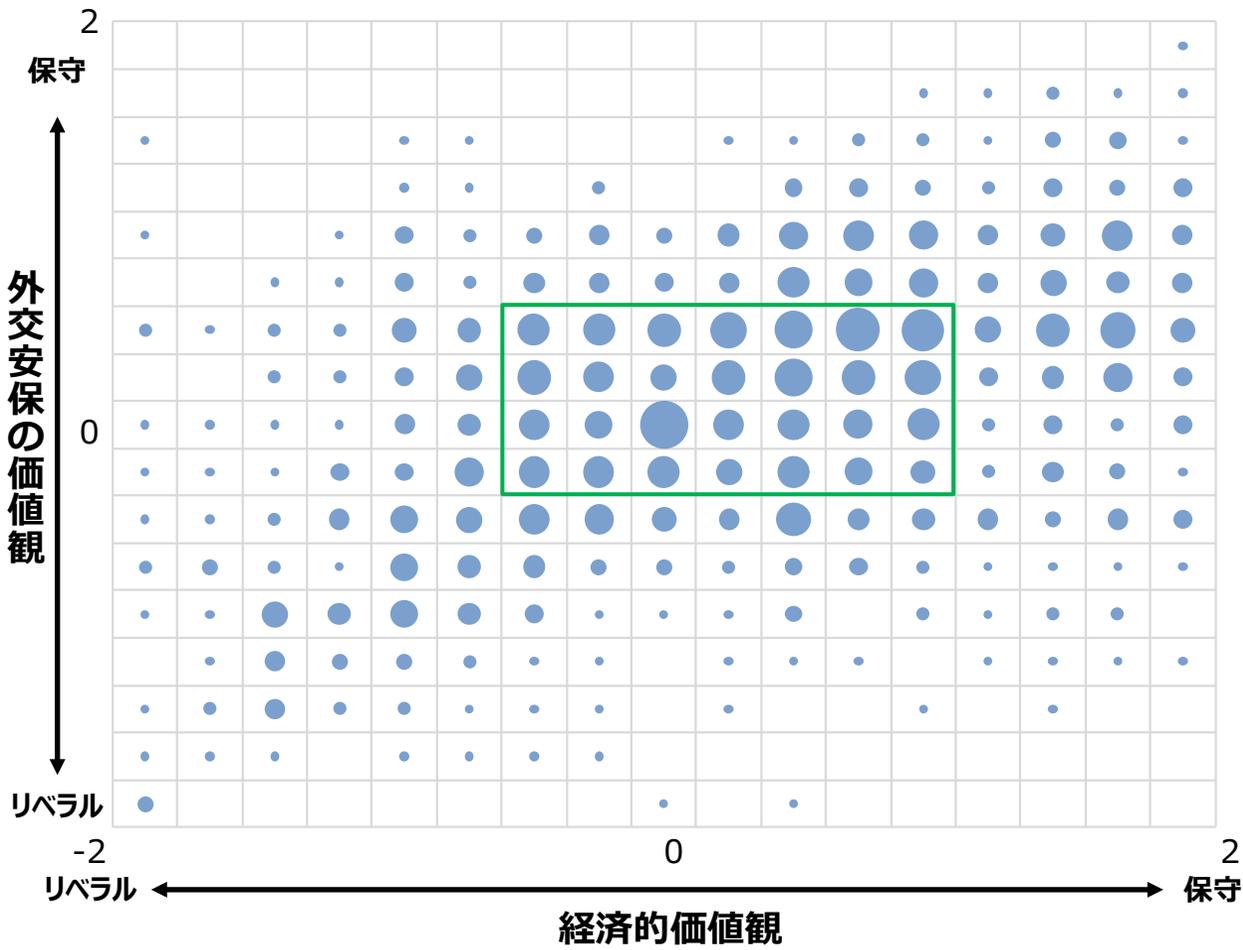
Q： 社会問題についてお聞きします。下記のそれぞれの主張についてお考えに当てはまるものをお答えください。



経済的価値観 × 外交安保の価値観

経済的価値観(横軸)と外交安保(縦軸)のウェイト平均を掛け合わせ回答者の分布を確認した。
象限としては、109-115・126-132・143-149・160-166のボリュームが多く、経済的価値観、外交安保共に中立な傾向

※いずれかの項目において「わからない」と回答した人を除外したベース 今回(2022年) WB前 n=2,898 今回(2022年) WB後 n=2,948



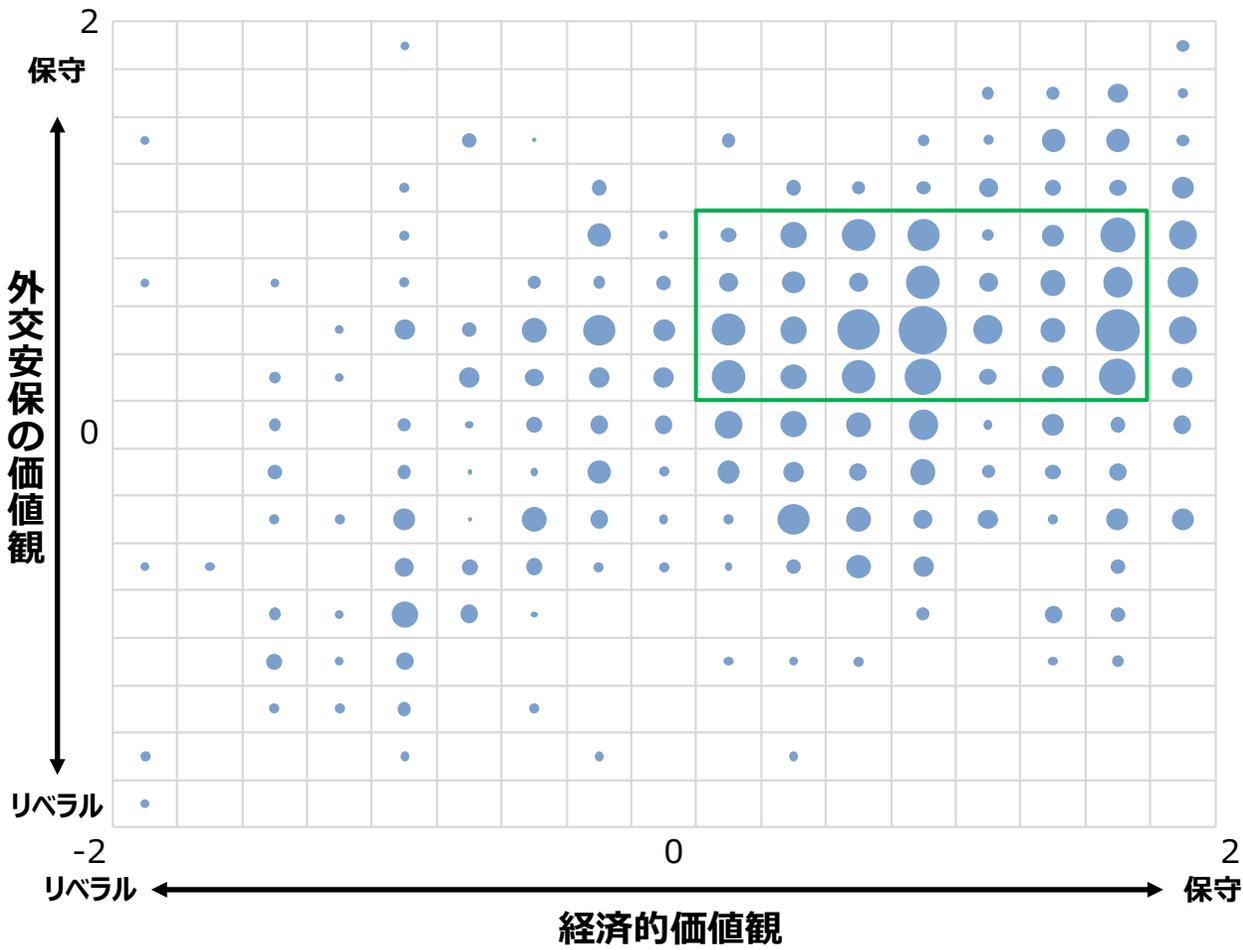
※ウェイト平均のスコアにて作成

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68
69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85
86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102
103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119
120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136
137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153
154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170
171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187
188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204
205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221
222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238
239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255
256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272
273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289

経済的価値観 × 外交安保の価値観（自民党）

21年10月の衆院選の比例代表で自民党に投票した人で結果を確認した。
象限としては、78-84・95-101・112-118・129-135のボリュームが多い。

※21年10月の衆院選の比例代表で「自民党」に投票した人、かついずれかの項目において「わからない」と回答した人を除外したベース 今回（2022年）
WB前 n=607 今回（2022年）WB後 n=648



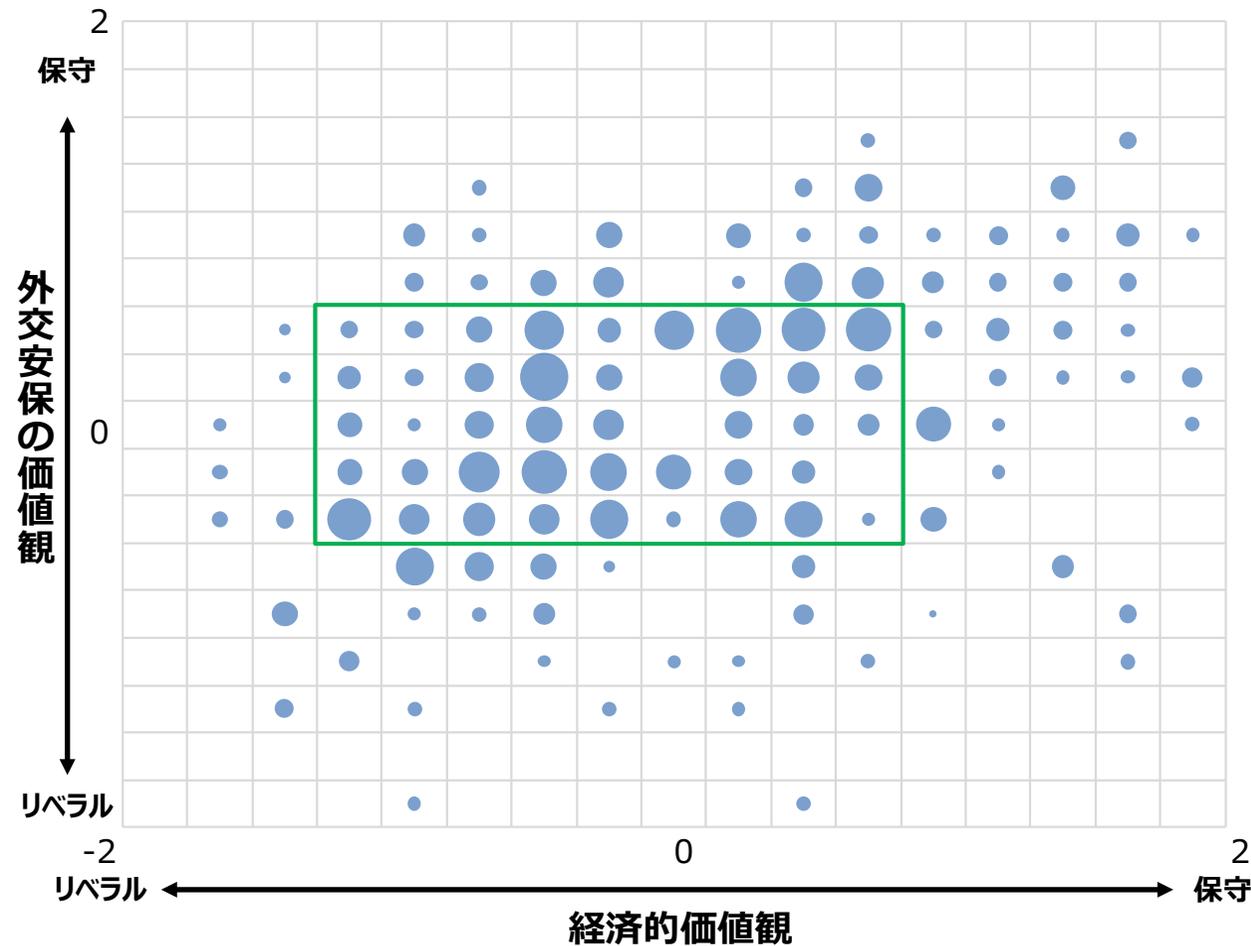
※ウエイト平均のスコアにて作成

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68
69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85
86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102
103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119
120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136
137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153
154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170
171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187
188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204
205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221
222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238
239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255
256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272
273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289

経済的価値観 × 外交安保の価値観（立憲民主党）

21年10月の衆院選の比例代表で立憲民主党に投票した人で結果を確認した。
象限としては、106-114・123-131・140-148・157-165・174-182のボリュームが多い。

※21年10月の衆院選の比例代表で「立憲民主党」に投票した人、かついずれかの項目において「わからない」と回答した人を除外したベース 今回（2022年）WB前 n=295 今回（2022年）WB後 n=356



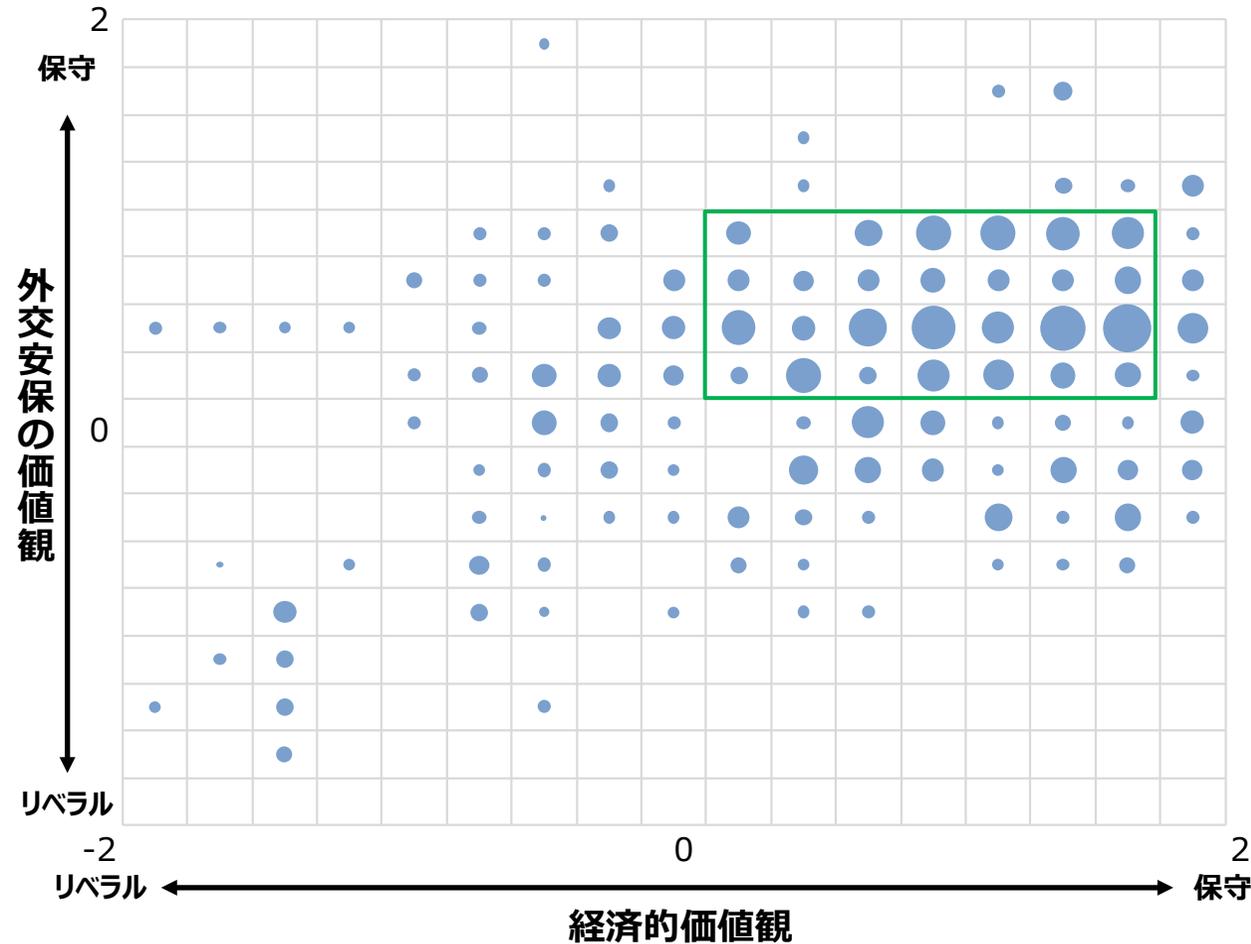
※ウエイト平均のスコアにて作成

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68
69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85
86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102
103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119
120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136
137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153
154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170
171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187
188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204
205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221
222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238
239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255
256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272
273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289

経済的価値観 × 外交安保の価値観（日本維新の会）

21年10月の衆院選の比例代表で日本維新の会に投票した人で結果を確認した。
象限としては、78-84・95-101・112-118・129-135のボリュームが多い。

※21年10月の衆院選の比例代表で「日本維新の会」に投票した人、かついずれかの項目において「わからない」と回答した人を除外したベース 今回
(2022年) WB前 n=282 今回 (2022年) WB後 n=322



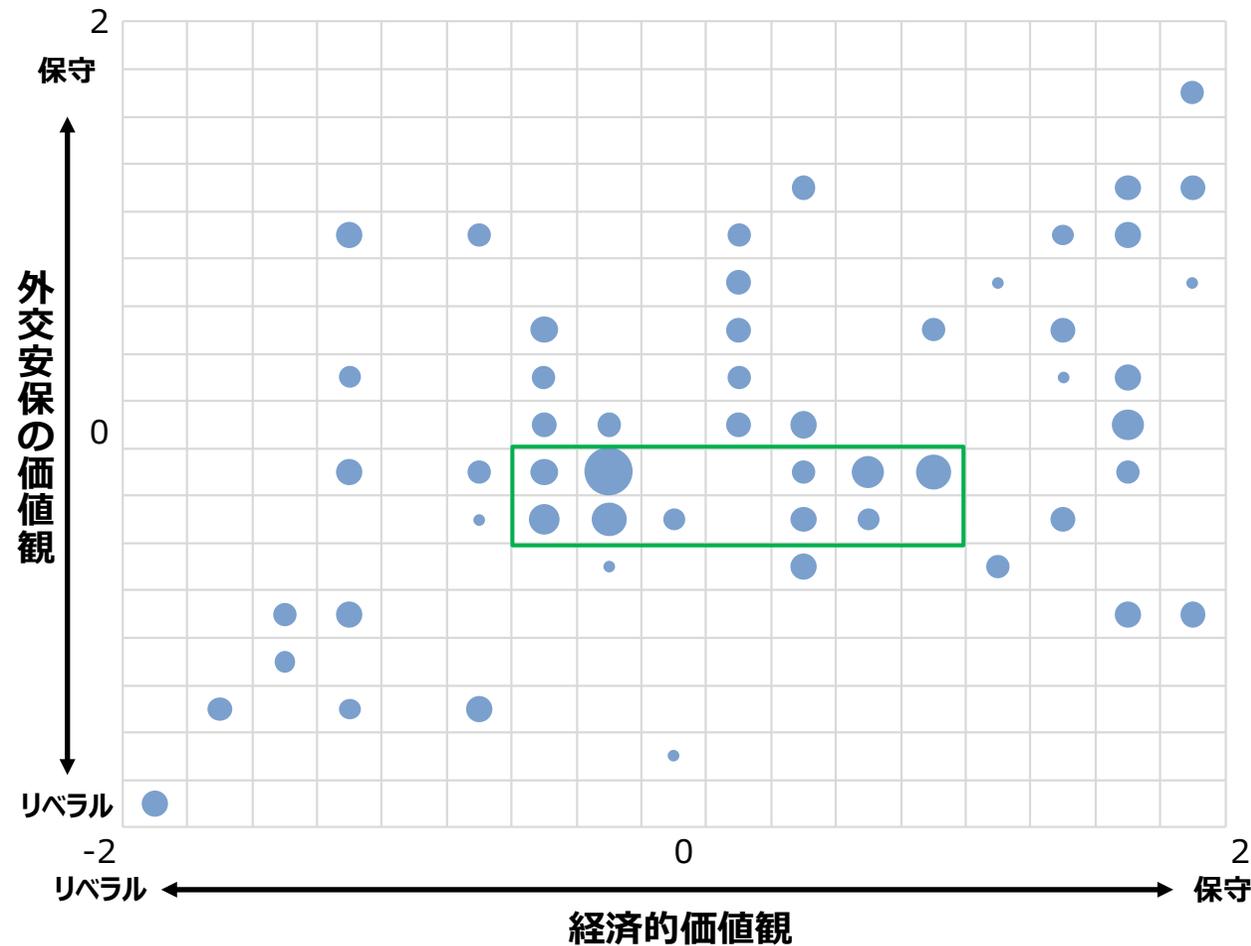
※ウエイト平均のスコアにて作成

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68
69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85
86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102
103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119
120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136
137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153
154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170
171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187
188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204
205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221
222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238
239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255
256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272
273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289

経済的価値観 × 外交安保の価値観（国民民主党）

21年10月の衆院選の比例代表で国民民主党に投票した人で結果を確認した。
サンプル数が少ないが、象限としては160-166・177-183のボリュームが多い。

※21年10月の衆院選の比例代表で「国民民主党」に投票した人、かついずれかの項目において「わからない」と回答した人を除外したベース 今回（2022年）WB前 n=61 今回（2022年）WB後 n=55



※ウエイト平均のスコアにて作成

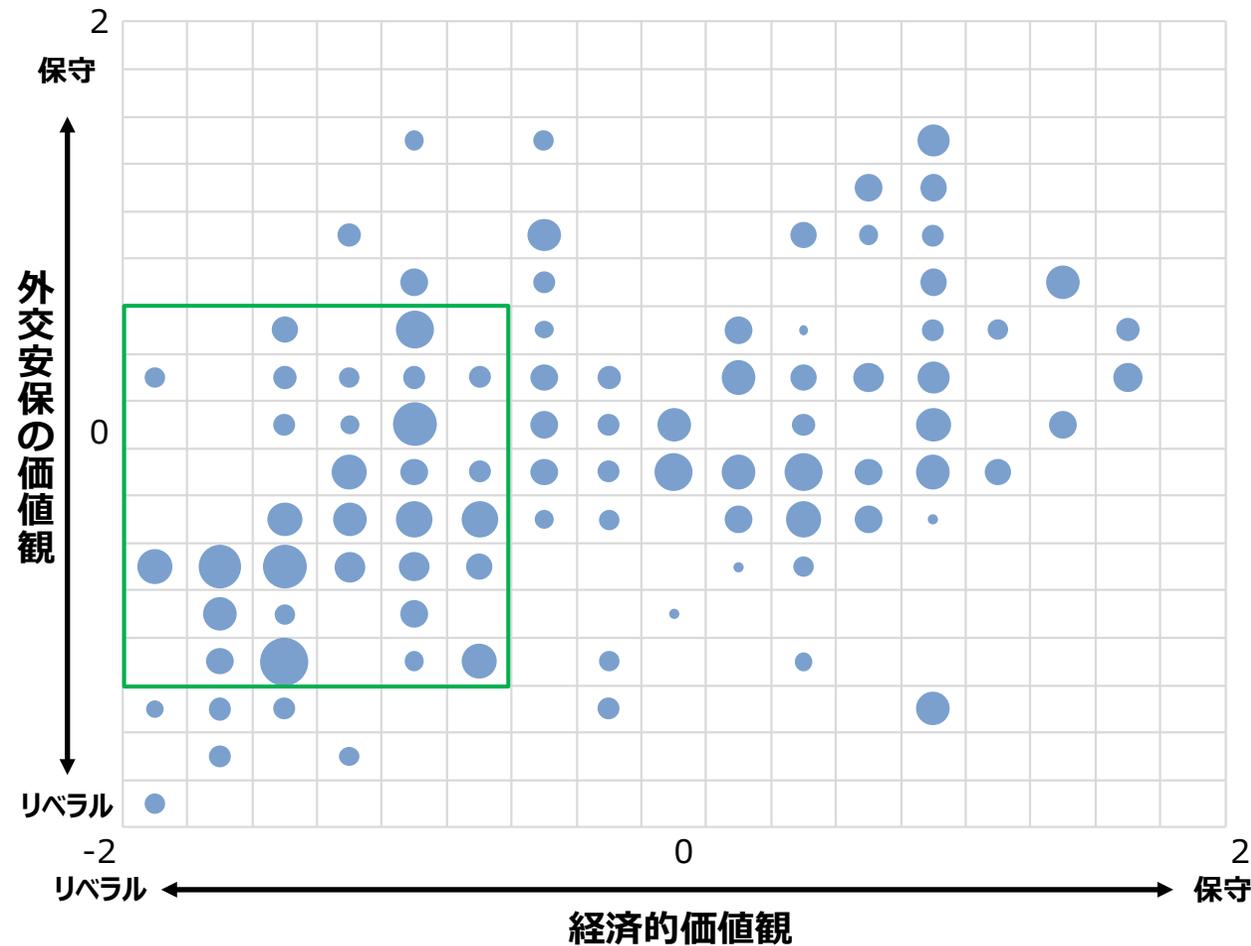
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68
69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85
86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102
103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119
120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136
137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153
154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170
171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187
188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204
205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221
222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238
239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255
256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272
273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289

経済的価値観 × 外交安保の価値観（共産党）

21年10月の衆院選の比例代表で共産党に投票した人で結果を確認した。

象限としては、103-108・120-125・137-142・154-159・171-176・188-193・205-210・222-227のボリュームが多い。

※21年10月の衆院選の比例代表で「共産党」に投票した人、かついずれかの項目において「わからない」と回答した人を除外したベース 今回（2022年）WB前 n=133 今回（2022年）WB後 n=157



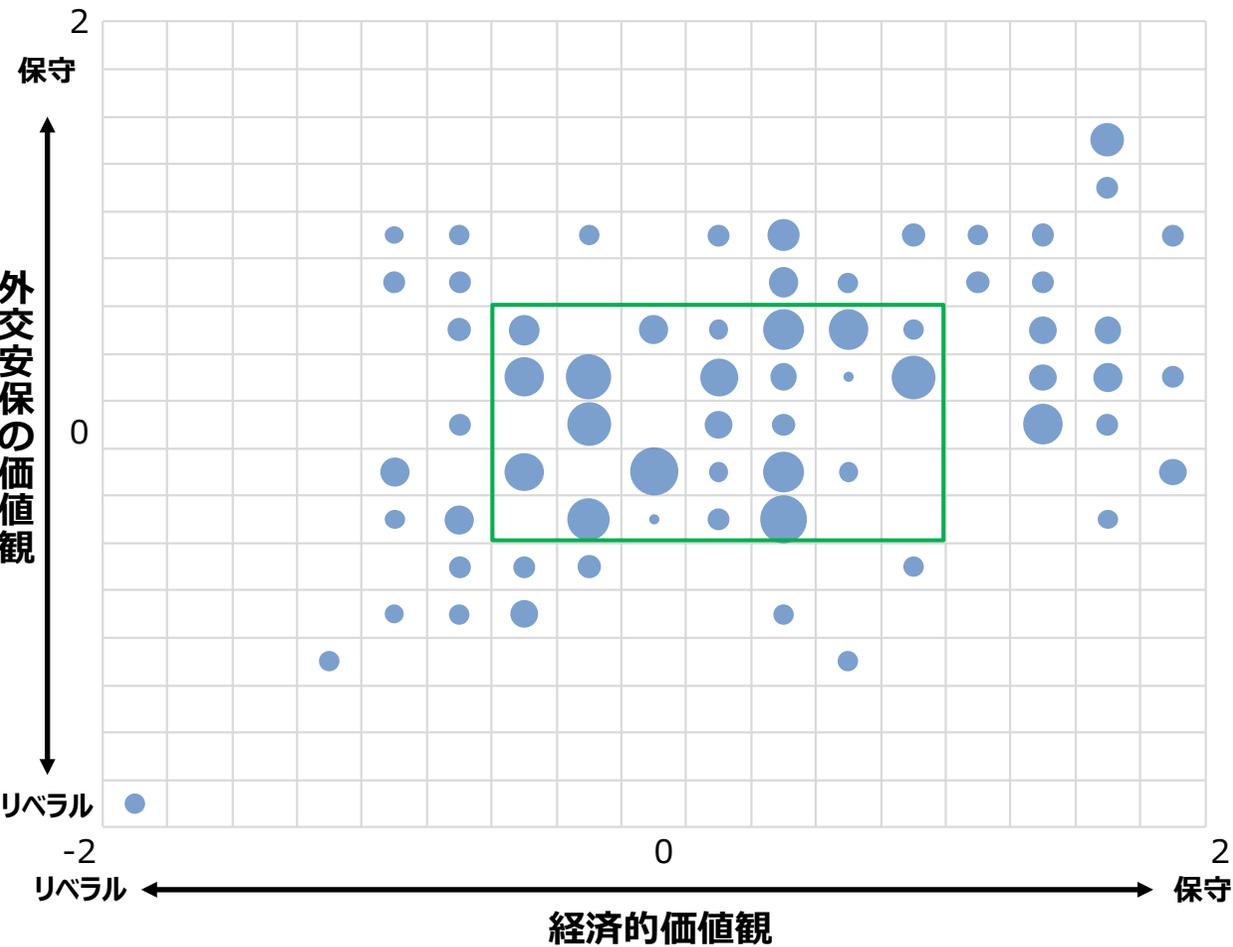
※ウエイト平均のスコアにて作成

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68
69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85
86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102
103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119
120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136
137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153
154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170
171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187
188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204
205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221
222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238
239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255
256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272
273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289

経済的価値観 × 外交安保の価値観（公明党）

21年10月の衆院選の比例代表で公明党に投票した人で結果を確認した。
象限としては、109-115・126-132・143-149・160-166・177-183のボリュームが多い。

※21年10月の衆院選の比例代表で「公明党」に投票した人、かついずれかの項目において「わからない」と回答した人を除外したベース 今回（2022年）WB前 n=108 今回（2022年）WB後 n=117



※ウエイト平均のスコアにて作成

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68
69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85
86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102
103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119
120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136
137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153
154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170
171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187
188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204
205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221
222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238
239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255
256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272
273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289

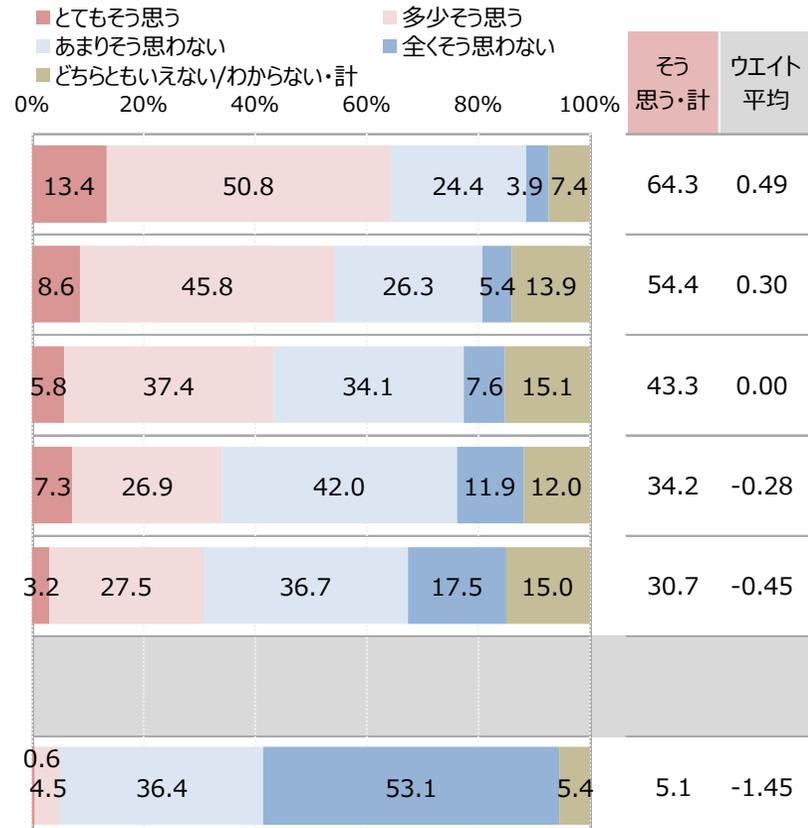
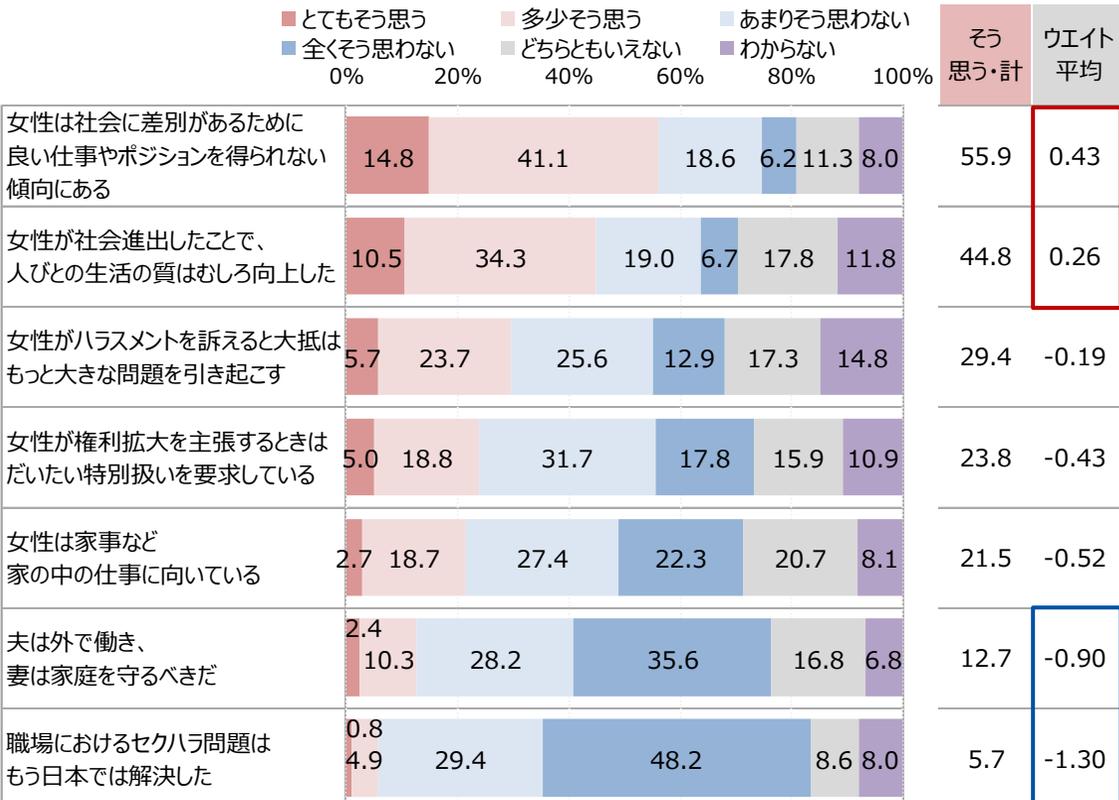
女性問題について

女性問題に対する意識は、「女性は社会に差別があるために良い仕事やポジションを得られない傾向にある」のウエイト平均が0.43と最も高く、次いで「女性が社会進出したことで、人びとの生活の質はむしろ向上した」(0.23)が続く。一方「職場におけるセクハラ問題はもう日本では解決した」「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」などについてはウエイト平均のマイナスが大きく否定的な様子が見られる。時系列でみるとウエイト平均の多少の変化はあるものの全体的な傾向に差は見られなかった。

Q：女性問題についてお聞きします。下記のそれぞれの主張についてお考えに当てはまるものをお答えください。

今回（2022年）

前回（2019年）



※ウエイト平均：「とてもそう思う（2）」「多少そう思う（1）」「どちらともいえない（0）」「あまりそう思わない（-1）」「全くそう思わない（-2）」にて算出。

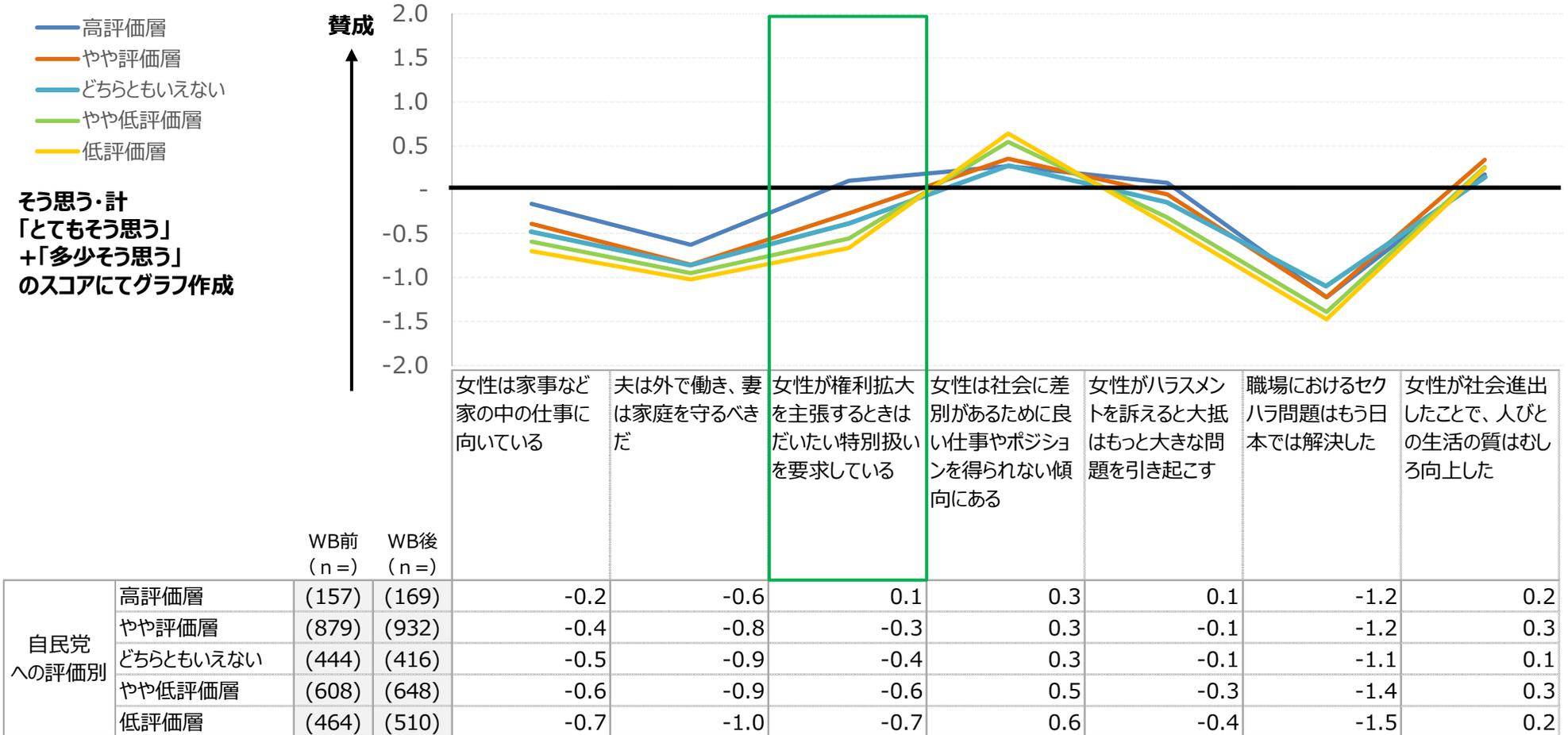
※前回と今回で項目が異なる場合は、※で前回選択肢を追記。

女性問題に関する価値観

女性問題に対する意識を自民党への評価別にみると、ほとんどの項目で価値観にギャップはない。「女性が権利拡大を主張するとき
はだいたい特別扱いを要求している」で高評価層と非評価層(低評価・やや低評価層)でギャップが見られた。

Q： 女性問題についてお聞きします。下記のそれぞれの主張についてお考えに当てはまるものをお答えください。

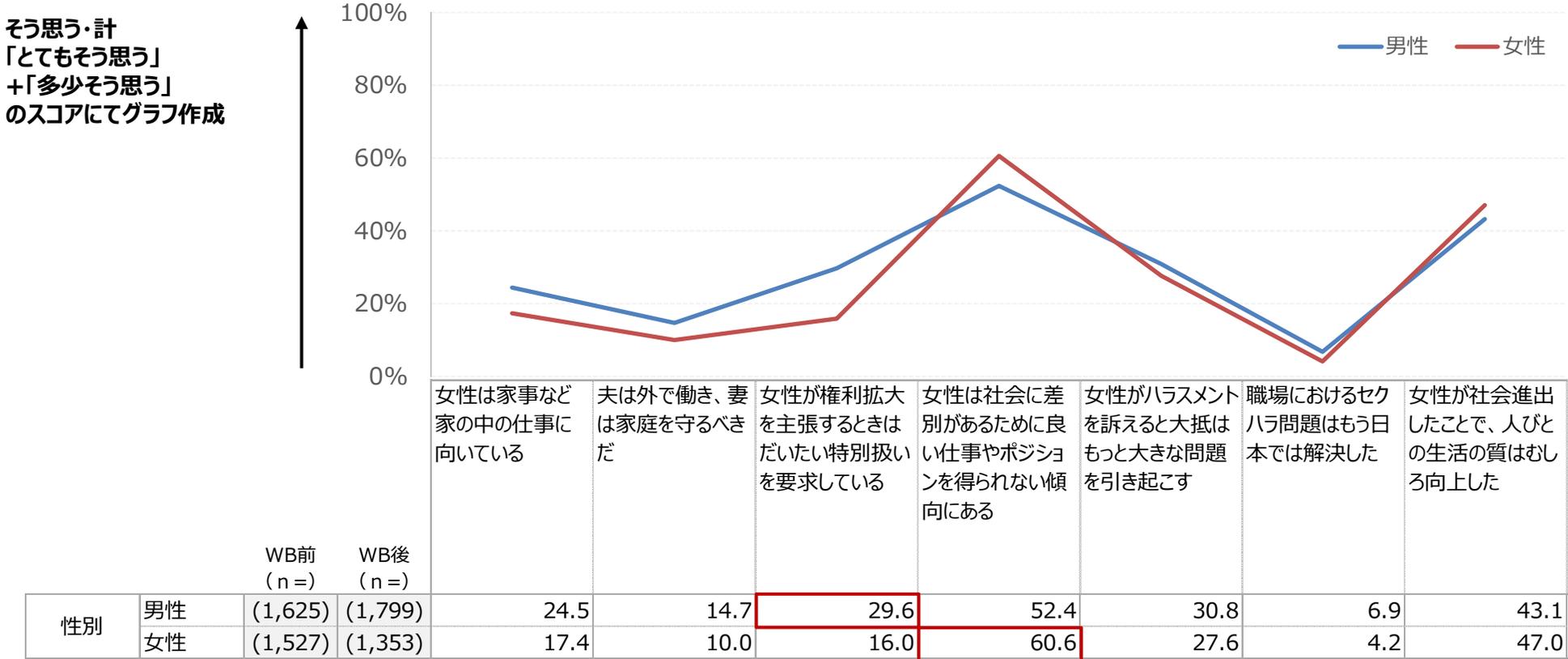
※ウエイト平均：「とてもそう思う（2）」「多少そう思う（1）」「どちらともいえない（0）」「あまりそう思わない（-1）」「全くそう思わない（-2）」にて算出。



女性問題に関する価値観（性別）

女性問題に対する意識を(とてもそう思う+多少そう思う)性別でみると、「女性が権利拡大を主張するときはだいたい特別扱いを要求している」は男性で、「女性は社会に差別があるために良い仕事やポジションを得られない傾向にある」は女性でそれぞれスコアが高くなっているが、大きな価値観の隔たりはない。

Q： 女性問題についてお聞きします。下記のそれぞれの主張についてお考えに当てはまるものをお答えください。

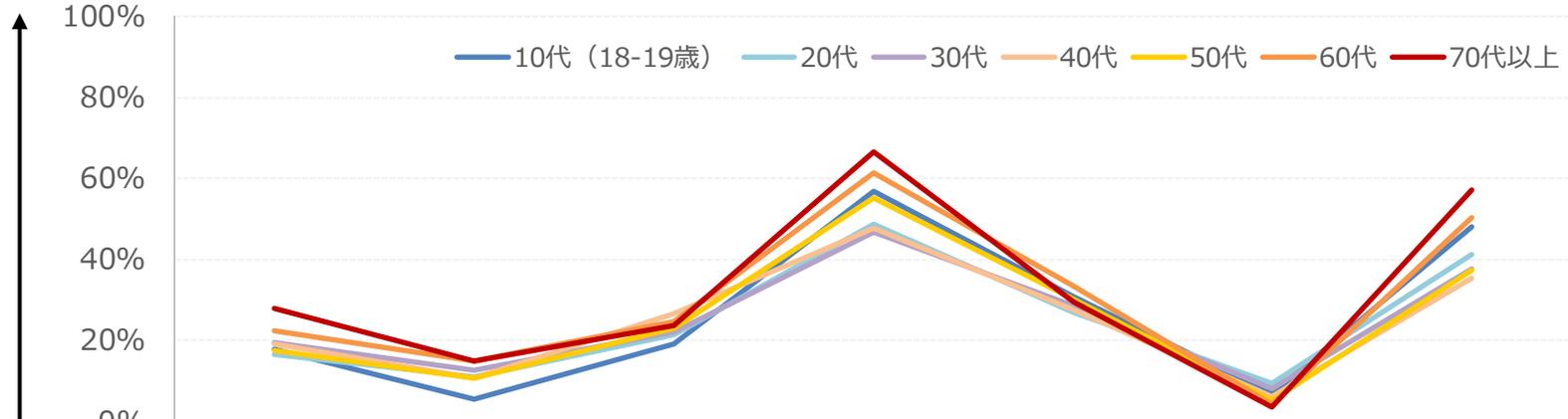


女性問題に関する価値観（年代別）

年代別でみると、60代以上で「女性は家事など家の中の仕事に向いている」「女性は社会に差別があるために良い仕事やポジションを得られない傾向にある」で他の年代に比べスコアが高くなっている。

Q： 女性問題についてお聞きします。下記のそれぞれの主張についてお考えに当てはまるものをお答えください。

そう思う・計
「とてもそう思う」
+「多少そう思う」
のスコアにてグラフ作成



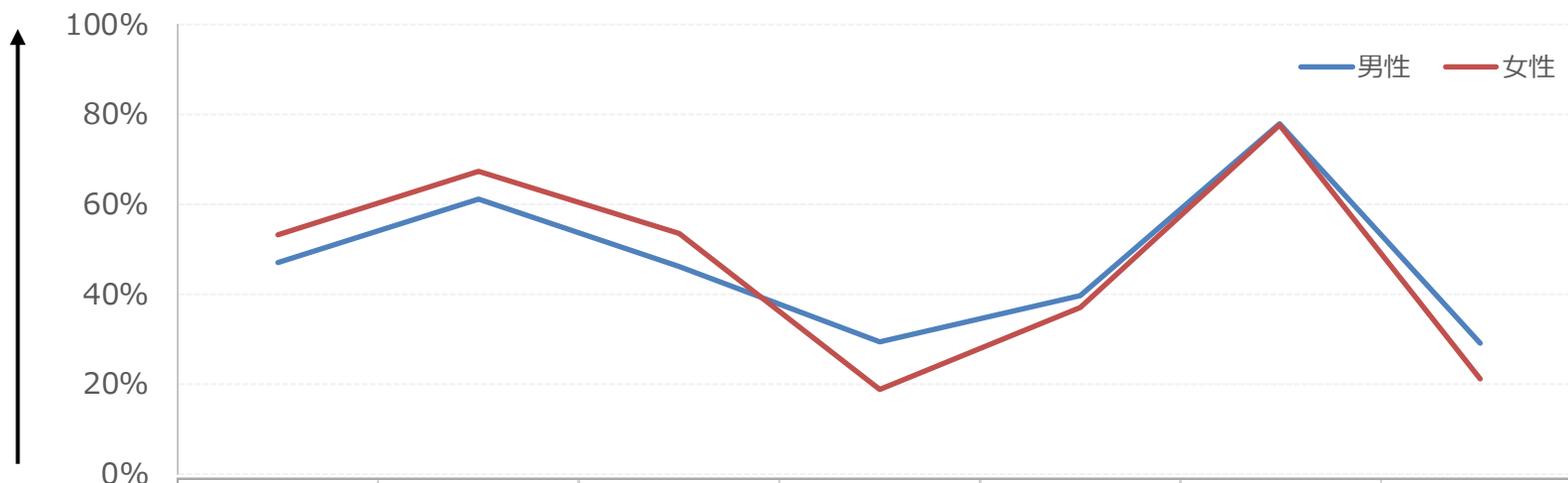
年代別		WB前	WB後							
		(n=)	(n=)	女性 は家事など 家の中の仕事に 向いている	夫は外で働き、妻 は家庭を守るべき だ	女性が権利拡大 を主張するときは だいたい特別扱い を要求している	女性は社会に差 別があるために良 い仕事やポジシ ョンを得られない傾 向にある	女性がハラスメント を訴えると大抵は もっと大きな問題 を引き起こす	職場におけるセク ハラ問題はもう日 本では解決した	女性が社会進出 したことで、人びと の生活の質はむし ろ向上した
	10代 (18-19歳)	(314)	(69)	17.8	5.4	19.1	56.7	30.9	6.7	48.1
	20代	(477)	(359)	16.6	11.1	21.4	48.6	26.8	9.4	41.1
	30代	(463)	(414)	19.4	12.7	22.2	46.7	28.5	8.2	37.6
	40代	(462)	(539)	19.3	10.8	26.6	47.8	27.7	6.1	35.5
	50代	(452)	(490)	17.7	10.6	23.2	55.1	30.3	5.3	37.4
	60代	(484)	(462)	22.5	15.1	24.8	61.2	33.3	4.1	50.2
	70代以上	(500)	(819)	28.0	15.0	23.8	66.6	29.4	3.6	57.2

女性問題に関する価値観（そう思わない・計：性別）

女性問題に対する意識(全くそう思わない+あまりそう思わない)を性別でみると、「女性は社会に差別があるために良い仕事やポジションを得られない傾向にある」は女性に比べ男性でスコアが高くなっている。

Q： 女性問題についてお聞きします。下記のそれぞれの主張についてお考えに当てはまるものをお答えください。

そう思わない・計
「全くそう思わない」
+「あまりそう思わない」
のスコアにてグラフ作成



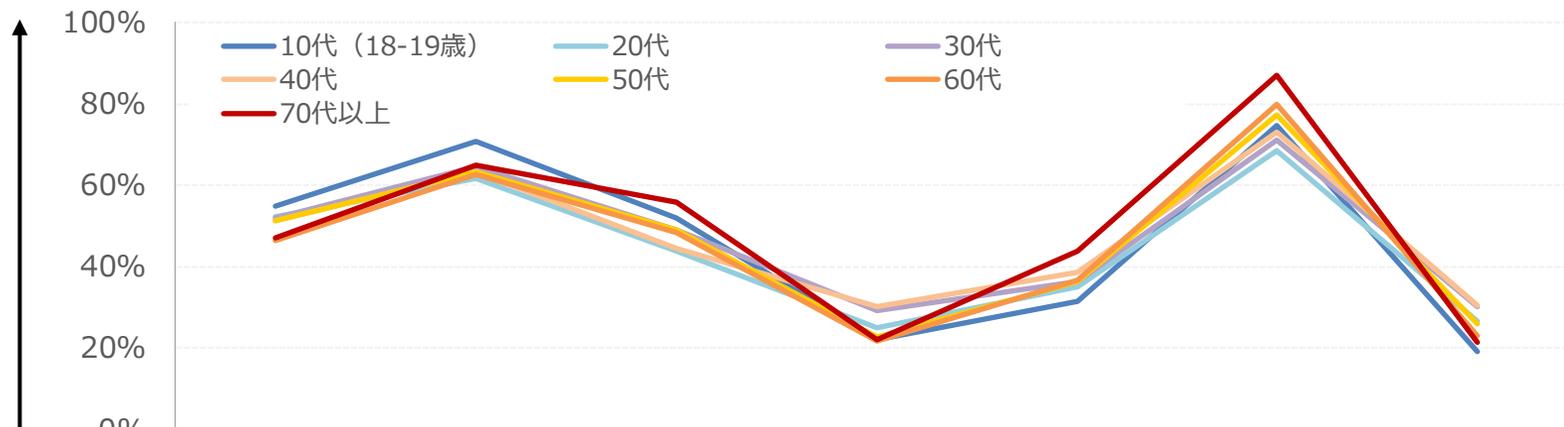
性別		WB前	WB後							
		(n=)	(n=)							
性別	男性	(1,625)	(1,799)	47.1	61.1	46.3	29.3	39.7	77.8	29.0
	女性	(1,527)	(1,353)	53.2	67.3	53.6	18.9	37.0	77.5	21.2

女性問題に関する価値観（そう思わない・計：年代別）

年代別でみると、60代以上では「女性は家事など家の中の仕事に向いている」で相対的に反対するスコアが低く、「職場におけるセクハラ問題はもう日本では解決した」で反対するスコアが高くなっている。

Q： 女性問題についてお聞きします。下記のそれぞれの主張についてお考えに当てはまるものをお答えください。

そう思わない・計
「全くそう思わない」
+「あまりそう思わない」
のスコアにてグラフ作成

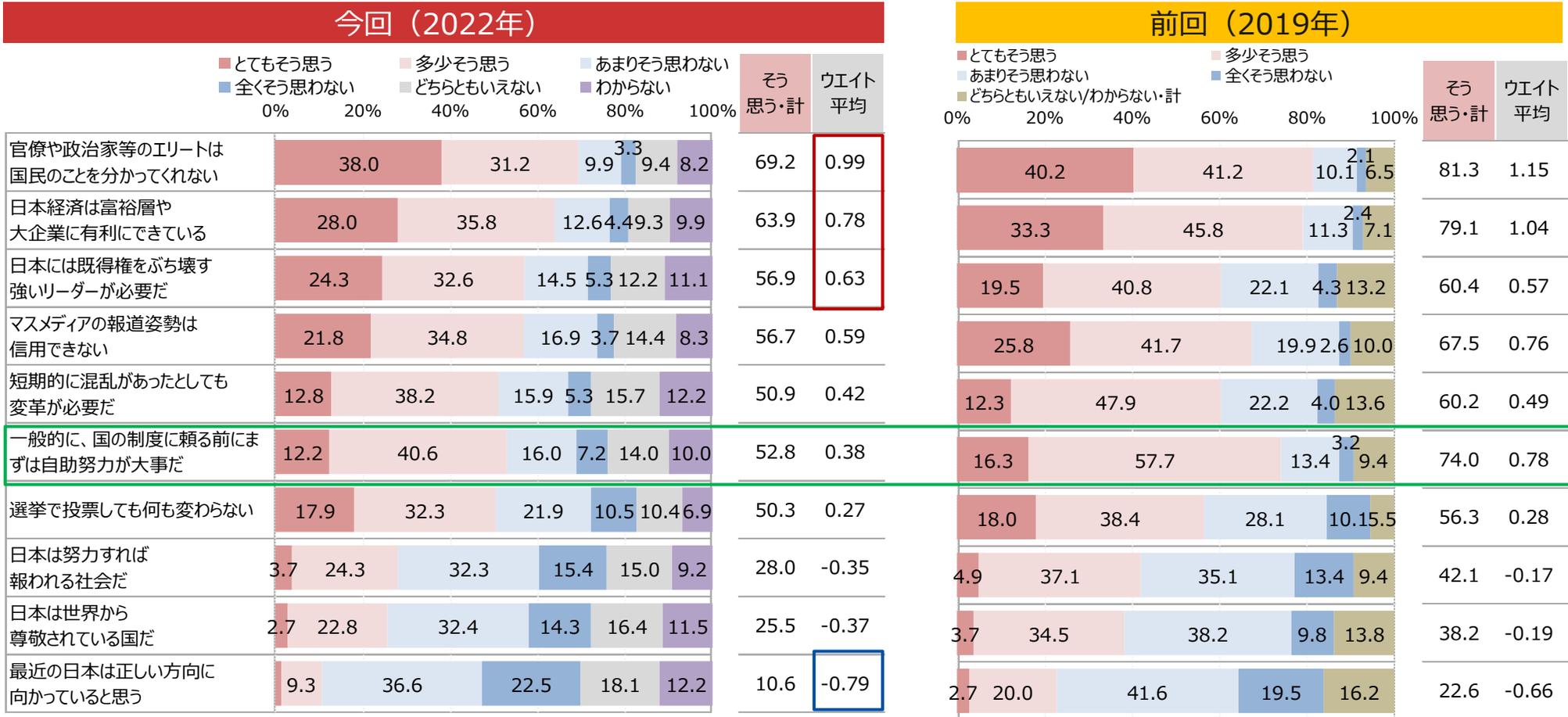


年代別		WB前	WB後	主張						
		(n=)	(n=)	女性は家事など家の中の仕事に向いている	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	女性が権利拡大を主張するときはだいたい特別扱いを要求している	女性は社会に差別があるために良い仕事やポジションを得られない傾向にある	女性がハラスメントを訴えると大抵はもっと大きな問題を引き起こす	職場におけるセクハラ問題はもう日本では解決した	女性が社会進出したことで、人びとの生活の質はむしろ向上した
	10代 (18-19歳)	(314)	(69)	54.8	70.7	51.9	22.0	31.5	74.8	19.1
	20代	(477)	(359)	52.2	61.6	43.8	24.9	35.0	68.6	26.6
	30代	(463)	(414)	52.1	64.6	49.0	29.2	36.5	71.1	30.2
	40代	(462)	(539)	51.3	63.2	44.6	30.3	38.5	73.2	30.5
	50代	(452)	(490)	51.3	63.3	48.9	22.8	36.5	77.4	26.1
	60代	(484)	(462)	46.5	62.8	48.3	21.7	36.8	80.0	23.1
	70代以上	(500)	(819)	47.0	64.8	56.0	22.2	43.8	87.0	21.4

日本社会について

日本社会に対する意識は、「官僚や政治家等のエリートは国民のことを分かってくれない」のウエイト平均が0.99と最も高く、次いで「日本経済は富裕層や大企業に有利にできている」(0.78)、「日本には既得権をぶち壊す強いリーダーが必要だ」(0.63)が続く。一方「最近の日本は正しい方向に向かっていると思う」についてはウエイト平均のマイナスが大きく否定的な様子が見られる。時系列でみるとウエイト平均は前回から減少傾向。特に「一般的に、国の制度に頼る前にまずは自助努力が大事だ」で顕著。

Q：日本社会についてお聞きします。下記のそれぞれの主張についてお考えに当てはまるものをお答えください。



※ウエイト平均：「とてもそう思う (2)」「多少そう思う (1)」「どちらともいえない (0)」「あまりそう思わない (-1)」「全くそう思わない (-2)」にて算出。

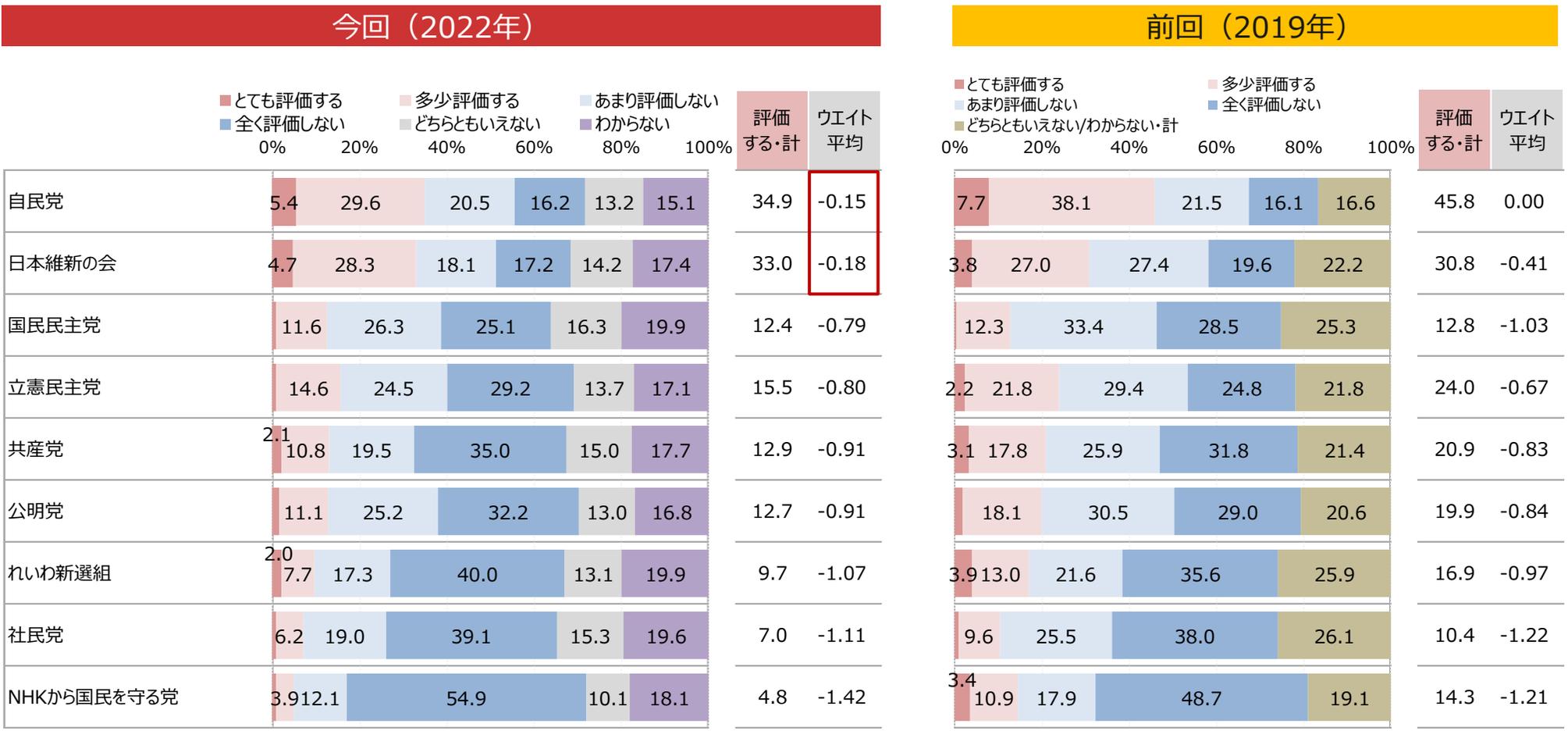
※前回と今回で項目が異なる場合は、※で前回選択肢を追記。

日本の政党について

日本の政党に関する評価をみると、全ての政党でウェイト平均がマイナスとなっているが、その中でも「自民党」(-0.15)、「日本維新の会」(-0.18)の評価が高くなっている。

時系列でみるとウェイト平均は多少の変化はあるものの全体的な序列に差は見られなかった。

Q：日本の政党についてお聞きします。それぞれの政党についてお考えに当てはまるものをお答えください。



※今回 (2022年) のウェイト平均のスコアで降順ソート ※今回 (2022年) WB前・後 n=3,152 前回 (2019年) WB前・後 n=2,060
 ※ウェイト平均：「とても評価する (2)」「多少評価する (1)」「どちらともいえない (0)」「あまり評価しない (-1)」「全く評価しない (-2)」にて算出。※今回 (2022年) のウェイト平均のスコアで降順ソート

4. 政治家に対する評価

各政治家に対する評価【そう思う・計】

各政治家に対する評価をみると、【吉村洋文大阪府知事】の評価が最も高く、次いで【河野太郎】が続く。

項目別でみると、「我慢強い」は【菅義偉】、「和を尊ぶ」は【岸田文雄】がトップとなっている。

今回と前回のスコアを比較すると【小泉進次郎】【菅義偉】【安倍晋三】で前回から大きくスコアを落としている。特に【小泉進次郎】で顕著。【岸田文雄】は微増傾向となっている。

Q：【各政治家の名前を表示】についてお聞きします。あなたの持っている印象についてそれぞれお答えください。

※横方向に 1位 2位 3位 4位 5位	今回 (2022年)								前回 (2019年)								差分 (2022年-2019年)						
	岸田文雄	安倍晋三	菅義偉	小泉進次郎	河野太郎	高市早苗	泉健太	吉村洋文	岸田文雄	安倍晋三	菅義偉	小泉進次郎	河野太郎	高市早苗	泉健太	吉村洋文	岸田文雄	安倍晋三	菅義偉	小泉進次郎	河野太郎		
信頼できる	24.3	18.3	25.4	21.1	34.8	18.2	9.7	43.9	22.2	32.1	36.1	49.1	37.9	非聴取					2.1	-13.8	-10.6	-28.0	-3.1
クリーンだ	30.6	8.9	27.2	28.8	31.3	21.0	14.3	41.3	24.4	20.4	34.3	53.3	34.9						6.2	-11.5	-7.0	-24.6	-3.6
我慢強い	31.9	22.5	37.8	16.8	25.5	18.3	10.4	35.7	26.1	42.8	46.4	37.7	34.8						5.8	-20.4	-8.6	-21.0	-9.3
実行力がある	18.6	35.1	23.5	25.8	49.8	21.4	8.0	56.6	16.5	52.5	34.8	56.3	42.5						2.1	-17.4	-11.3	-30.5	7.3
人望がある	19.8	25.7	16.6	26.7	27.3	14.5	7.6	44.8	19.4	39.2	38.6	58.7	26.9						0.5	-13.5	-21.9	-32.0	0.4
頭がキレる	22.7	26.4	20.7	25.8	43.3	27.5	9.9	48.1	29.5	40.3	46.4	61.5	43.8						-6.8	-13.9	-25.7	-35.7	-0.5
カリスマがある	7.9	29.7	7.2	38.1	34.2	15.4	4.2	45.5	10.3	34.5	19.9	64.9	23.1						-2.4	-4.7	-12.7	-26.8	11.1
発信力がある	17.3	40.2	12.0	44.3	53.4	26.1	8.6	62.3	14.9	53.4	40.5	73.0	39.7						2.4	-13.2	-28.5	-28.6	13.7
責任感がある	29.1	22.5	30.9	23.8	41.1	23.8	12.8	52.1	26.0	43.4	45.5	55.1	44.4						3.1	-20.9	-14.6	-31.3	-3.3
和を尊ぶ	34.9	19.9	27.4	18.9	19.2	15.2	10.6	24.8	27.2	36.7	40.6	36.8	27.9						7.7	-16.8	-13.2	-17.9	-8.7
自分たちの気持ちを知ってほしい	15.6	11.7	17.3	17.2	28.2	15.5	8.2	38.5	11.7	14.7	19.7	35.1	22.5						4.0	-3.0	-2.4	-17.9	5.6
安定感がある	24.5	34.7	21.6	20.2	27.5	17.8	7.0	41.4	23.5	54.4	50.1	51.1	37.4						0.9	-19.7	-28.4	-31.0	-9.9
頑張っている	40.0	30.9	38.8	33.7	49.5	31.7	18.1	60.8	26.4	59.3	52.9	67.3	54.1						13.7	-28.5	-14.1	-33.6	-4.6

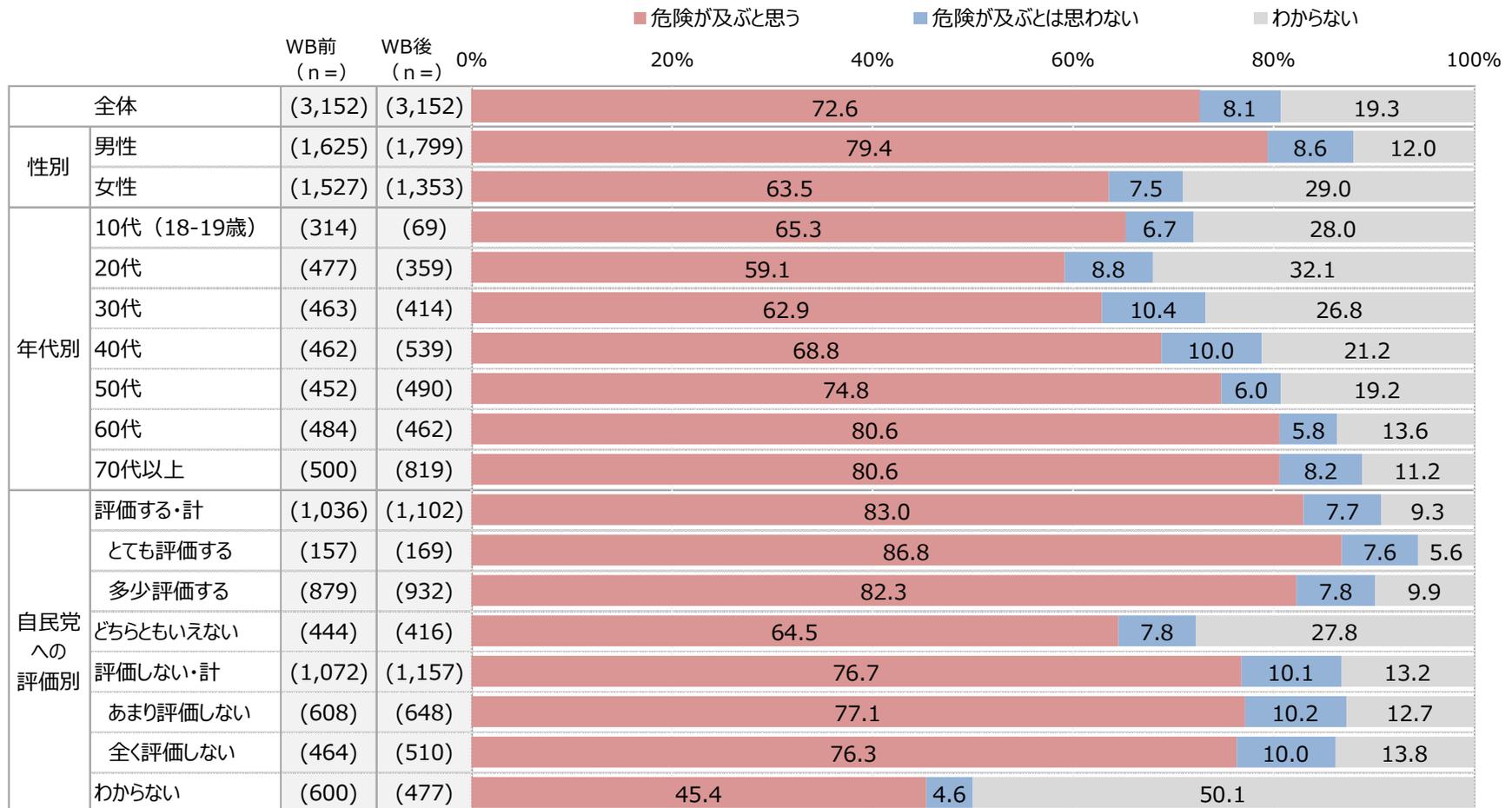
※今回 (2022年) のウエイト平均のスコアで降順ソート ※今回 (2022年) WB前・後 n=3,152 前回 (2019年) WB前・後 n=2,060
※そう思う・計 = 「とてもそう思う」+「多少そう思う」のスコア

5. 時事問題への意識

中国と台湾で軍事紛争が起きた時の日本への危険

中国と台湾で軍事紛争が起きた時の日本への危険については、「危険が及ぶと思う」72.6%、「危険が及ぶとは思わない」8.1%、「わからない」19.3%。性別では男性、年代別では60代以上、自民党への評価別では、評価する・計(「とても評価する」+多少評価する)で「危険が及ぶと思う」の割合が8割前後と高くなっている。

Q：台湾と日本の与那国島との距離は約110キロです（直線距離で東京から富士市程度）。最近、中国が台湾周辺での軍事活動を活発化させていますが、中国と台湾の間で軍事紛争が起きた場合、日本にも危険が及ぶと思いますか。

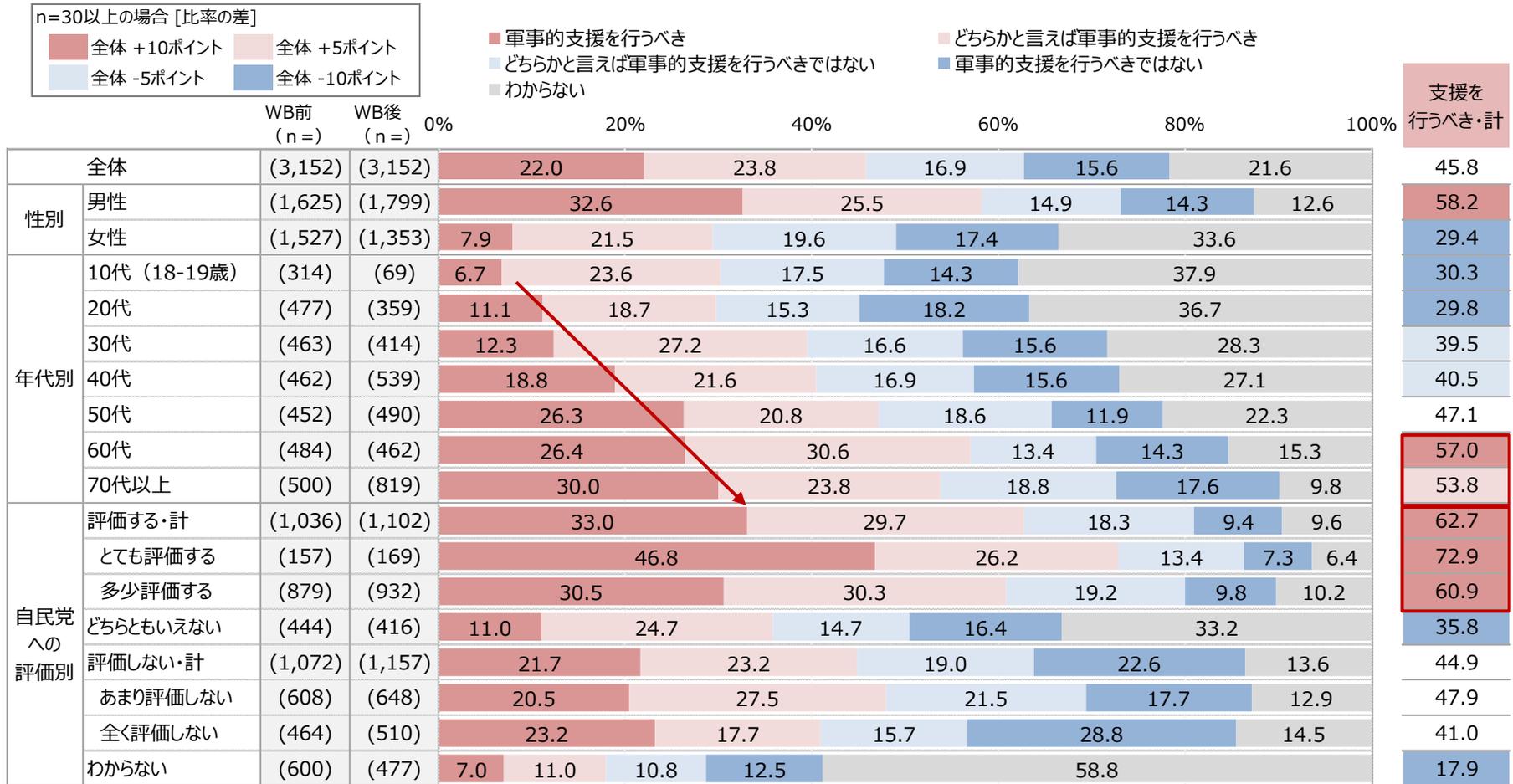


諸外国が台湾へ支援を行う場合の日本の軍事的支援

諸外国が台湾へ支援を行う場合の日本の軍事的支援については、支援を行うべき・計は45.8%。内訳をみると、「軍事的支援を行うべき」22.0%、「どちらかと言えば軍事的支援を行うべき」23.8%となっている。年代別でみると、支援を行うべき・計は60代以上でスコアが高い。また「軍事的支援を行うべき」のスコアは年代が上がるにつれて高くなる傾向。

自民党への評価別では、評価する・計(「とても評価する」+多少評価する)で支援を行うべき・計の割合が6~7割と高い。

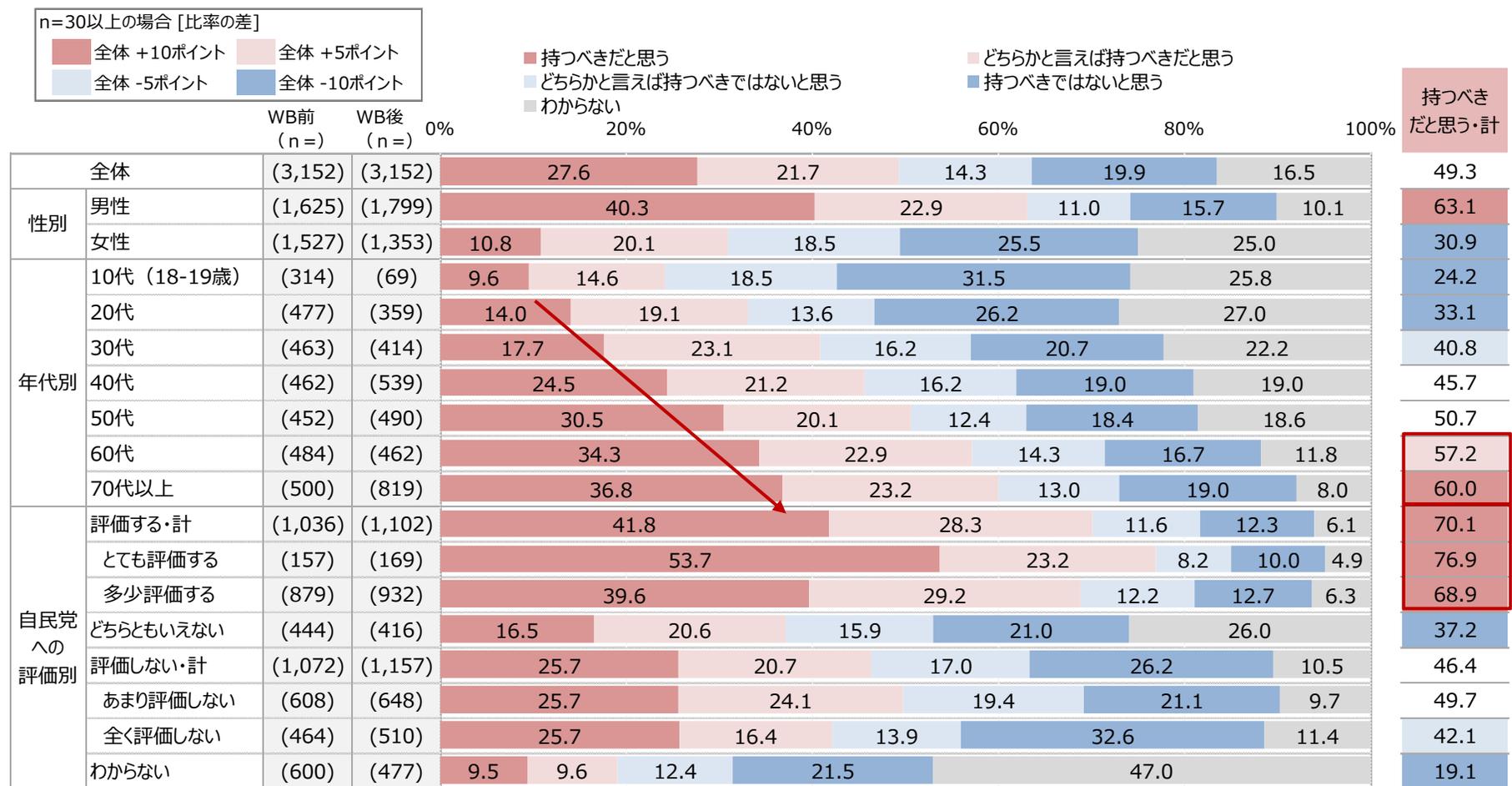
Q：中国と台湾の間で軍事紛争が起き、諸外国が台湾への支援を行う場合、日本はそれらの諸外国への軍事的支援を行うべきだと思いますか。



反撃のためのミサイル保有

反撃のためのミサイル保有については、持つべきだと思う・計は49.3%。年代別で見ると、60代以上でスコアが高く、年代が上がるにつれて高くなる傾向。自民党への評価別では、評価する・計で持つべきだと思う・計の割合が7割前後と突出している。

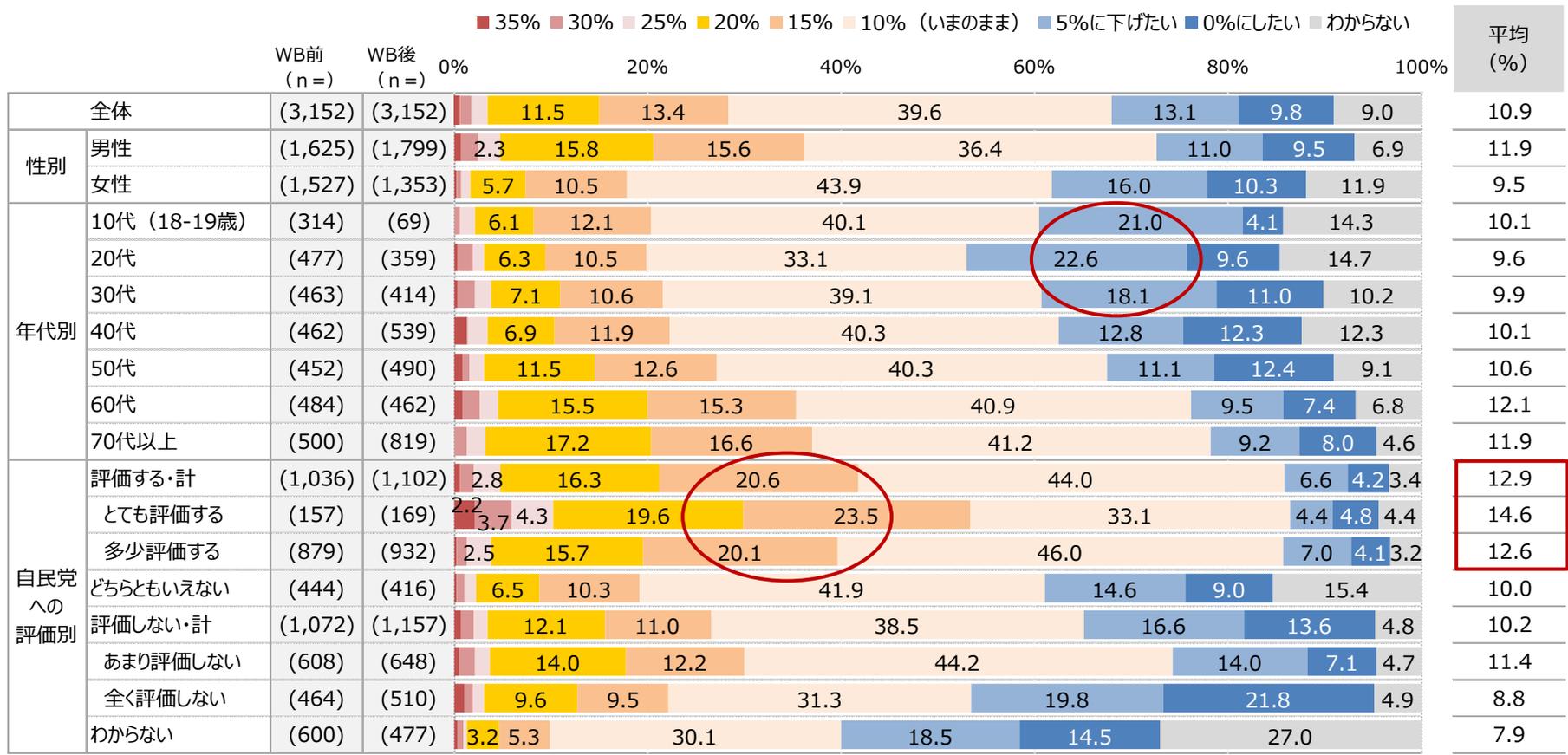
Q：周辺国は日本が射程に入る多数のミサイルを保有し、関連技術の開発を進めています。日本はそのようなミサイルを保有していません。日本へのミサイル攻撃の際、これに反撃するためにミサイルを含めた打撃力を保有すべきとの議論がありますが、あなたは、こうした能力を持つべきだと思いますか。持つべきではないと思いますか。



社会保障のために上がってもよい消費税率

社会保障のために上がってもよいと思う消費税率は、「10%(いまのまま)」が39.6%と最も多い。「20%」「15%」「5%に下げたい」「0%にしたい」がそれぞれ10%で、平均(%)は10.9%。年代別で見ると10-30代で「5%に下げたい」の割合がやや高い傾向。自民党への評価別では、評価する・計で「15%」の割合がやや高く、平均(%)も12~14%台と高くなっている。

Q：社会保障のためならば消費税は何%まで上がってもよいと思いますか。



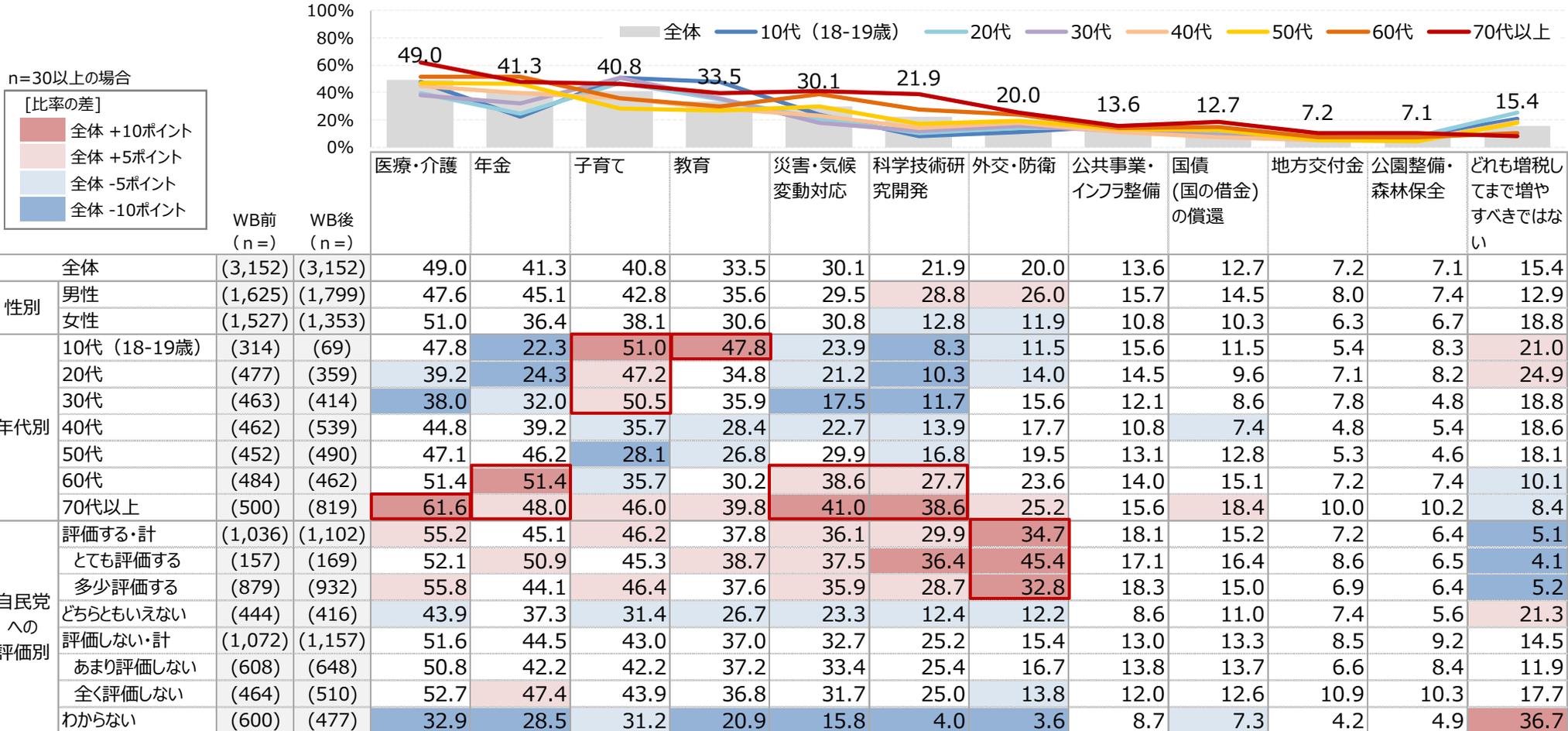
※2.0未満のスコアは非表示

増税しても増やすべき予算

仮に増税したとしても増やすべき予算は、「医療・介護」が49.0%で最も高く、以下「年金」(41.3%)、「子育て」(40.8%)、「教育」(33.5%)と続く。年代別でみると、10代で「教育」、10-30代で「子育て」、60代以上で「年金」「災害・気候変動対応」「科学技術研究開発」、70代以上で「医療・介護」のスコアがそれぞれ高く特徴的。

自民党への評価別では、評価する・計で「外交・防衛」のスコアが全体に比べ10pt以上高い。

Q：仮に増税したとしても増やすべきだとあなたが思う予算の分野は次のうちどれですか。（MA）



※全体のスコアにて降順ソート

日常的な行動

日常的に行っている行動は、「初詣に行く」が46.8%で最も高く、以下「定期的に墓参りをする」(42.0%)、「家に仏壇がある」(32.0%)と続く。年代別でみると、10-30代では「ひとつもない」の割合が高く、60代以上で全般的にスコアが高い傾向。自民党への評価別では、評価する・計(「とても評価する」+多少評価する)で全般的にスコアが高くなっている。

Q：この中で行っている行動はありますか。(MA)

